



第7次 八戸市総合計画

ひと・産業・文化が輝く 北の創造都市

資	料	1
令和6年5月16日		
R06 総市委01		

第7次八戸市総合計画

【施策シート①】

第1回八戸市総合計画等推進市民委員会

令和6年5月16日

八戸市

○施策シート目次

政策1 「ひと」を育む（政策分野：子育て・教育・文化・スポーツ）	P 1
政策2 「経済」を回す（政策分野：産業・雇用）	P 36

○施策シートの見方

■基本的な考え方

各政策の基本的な考え方を総合計画の冊子から転記しています。

■施策の体系

各政策の内容を体系的に掲載しています。

- ・政策…市が目指すべきまちづくりの方向を示すものです。
- ・施策の方向性…政策を推進するために、どのような方向性で施策を展開していくのかを示すものです。
- ・施策…施策の方向性ごとに、今後の方策を示すものです。

■各施策について、施策の内容のほか、以下の項目を記載しています。

（1）施策を推進するための事務事業

施策を推進するための事業について、代表的な事業と担当課を記載しています。各事業の具体的な内容については、第7次総合計画付属資料「令和5年度 政策を推進するための事業一覧」に掲載しています。

（2）市民アンケートの結果

施策の進行管理を目的として、令和6年3月に実施した市民アンケートの調査結果（施策の満足度）を記載しています。

（3）進行管理指標の動向

施策の進捗状況を確認するための指標の動向を記載しています。

（4）施策の進行状況に対する市の自己評価

市民アンケートの結果及び進行管理指標の動向に基づく、市の自己評価及び評価理由を記載しています。

（5）施策に対する委員会の評価

（4）に記載した市の自己評価の妥当性を審議いただき、記入する欄を設けています。

（6）施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見を記入する欄を設けています。

政策１ 「ひと」を育む（政策分野：子育て・教育・文化・スポーツ）

<基本的な考え方>

次代を担う子どもから大人まで、市民（ひと）一人一人が豊かな人生を育むことは、社会全体を生き生きとさせ、明るい未来を築くことにつながります。

全ての市民の人生を豊かなものにできるよう、それぞれのライフステージに応じた環境づくりを推進することが重要です。

これまで、当市では、市民が結婚・出産・子育ての希望をかなえ、安心して子どもを産み育てられるよう、結婚支援や子育て支援の充実に取り組んできました。

また、子どもたちが確かな学力と豊かな心、健やかな体の３つからなる「生きる力」を着実に育むことができ、郷土を愛し地域で活躍する人材を育むことができるよう、学校教育の充実に取り組んできました。

さらに、市民が豊かな人生を送ることができるよう、社会教育の充実を図るとともに、多種多様な文化芸術活動の促進やスポーツに親しむ環境づくりを進めてきました。

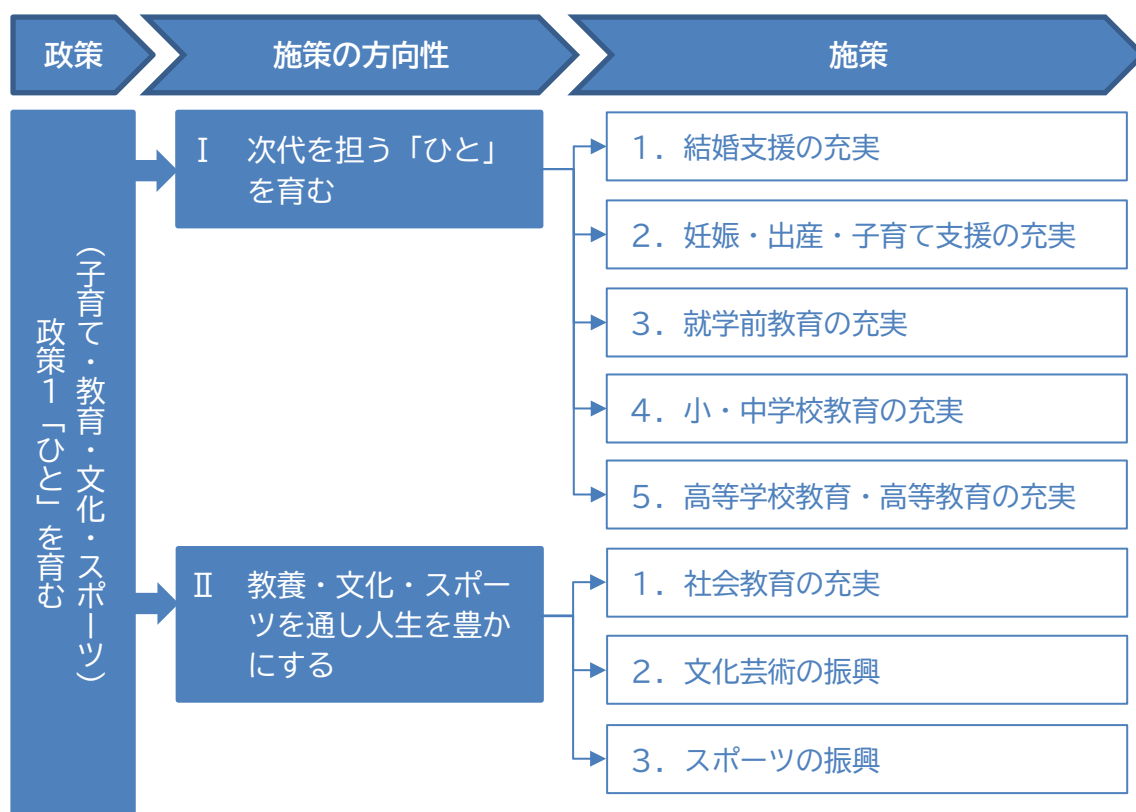
こうした中、近年の核家族化の進展により地域住民同士のつながりの希薄化が進むなど子育て環境が大きく変化しており、今後も子育て家庭が子どもを育てる喜びや楽しさを実感できる環境づくりを推進する必要があります。

また、現代社会はグローバル化や情報化が急速に進展しており、これらの変化に対応し豊かな未来を自らの手で切り拓くことができる人材を育む必要があります。

さらに、市民が主体的に学ぶことができる機会や文化芸術・スポーツに親しむ機会が数多く創出されてきた中で、市民一人一人が精神的な豊かさを感じながら、より豊かな人生を送ることができるよう、これまでの取組を更に推進する必要があります。

このようなことから、当市では、次代を担う「ひと」を育むため、結婚支援や妊娠・出産・子育て支援、就学前教育、小・中学校教育、高等学校教育・高等教育の充実を図るとともに、教養・文化・スポーツを通し豊かな人生を送る「ひと」を育むため、社会教育の充実や文化芸術、スポーツの振興を図ります。

< 施策の体系 >



■ 施策の方向性Ⅰ 次代を担う「ひと」を育む

施策１．結婚支援の充実

目指す姿	・結婚を希望する人が、多くの出会いの機会を得られ、希望をかなえることができる。
施策の内容	地域住民との連携により結婚活動への支援に取り組むとともに、あおり出会いサポートセンターとの連携による情報提供やイベントの開催を通じた多様な出会いの機会の創出を図ります。

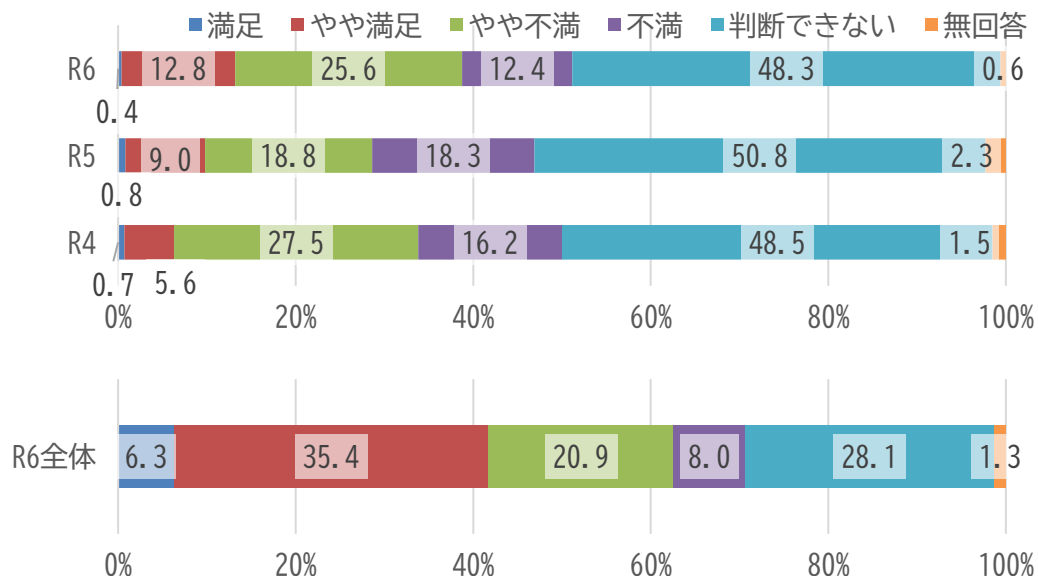
(１) 施策を推進するための事務事業

(1 事業)

事業名称	担当部署	掲載ページ
はちのへ縁結びプロジェクト事業	子育て支援課	P 1

(２) 市民アンケートの結果

【設問】結婚を希望する人の希望がかなえられるよう、出会いの機会の創出など、結婚支援の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 55 位／全 55 問

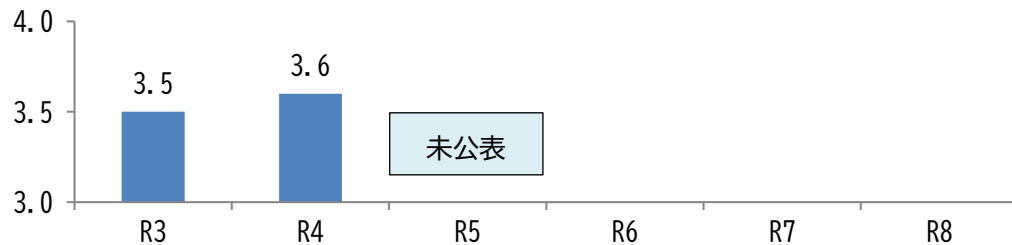
※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

(3) 進行管理指標の動向

①婚姻率

資料：青森県保健統計年報（各年集計）

指標の定義：人口千人に対する婚姻件数の割合

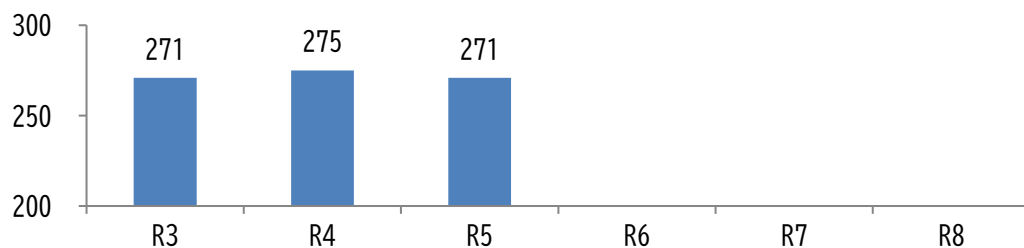


②あおり出会いサポートセンターの市民登録者数

資料：青森県（各年度集計）

指標の定義：あおり出会いサポートセンターにおける八戸市民の個人会員登録者数

（単位：人）



※関連指標：あおりマッチングシステム登録者数（R4. 10月から運用）

令和5年4月1日時点 94名（男76、女18）

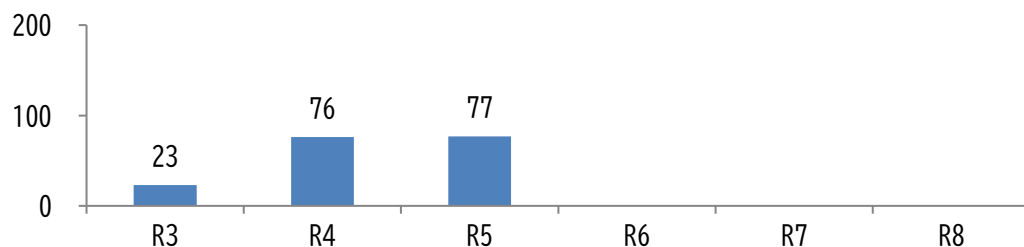
令和6年4月1日時点 146名（男106、女40）

③結婚に関するイベントへの参加者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸市で実施している婚活イベントへの参加者数

（単位：人）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 婚姻率は県内 10 市中第 2 位であったほか、八戸圏域連携中枢都市圏縁結び支援事業協議会で開催する婚活パーティーの参加者数は、協議会で設定した目標値(80 名)を概ね達成した。
- 市民アンケートの結果、満足度や認知度が低い傾向であることに対する改善と更なる出会いの機会の創出に向けて、令和 6 年度においては、婚活パーティーの 1 回当たりの定員を増やして実施する予定のほか、県と共同運営を行うあおり出会いサポートセンターの利用促進を図るため、AI マッチングシステムへの利用登録料の 1/2 の額を新規に助成する。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える 

※Bとする場合には、次の 4 区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策２．妊娠・出産・子育て支援の充実

目 指 す 姿	・ 妊娠や出産の希望をかなえられ、安心して子育てができています。
施策の内容	妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援体制の整備や子育て情報の提供に取り組むとともに、幼児期の教育・保育の充実を図ります。また、多様な子育て支援サービスの充実を図るとともに、子育て家庭への経済的支援に取り組めます。

(１) 施策を推進するための事務事業

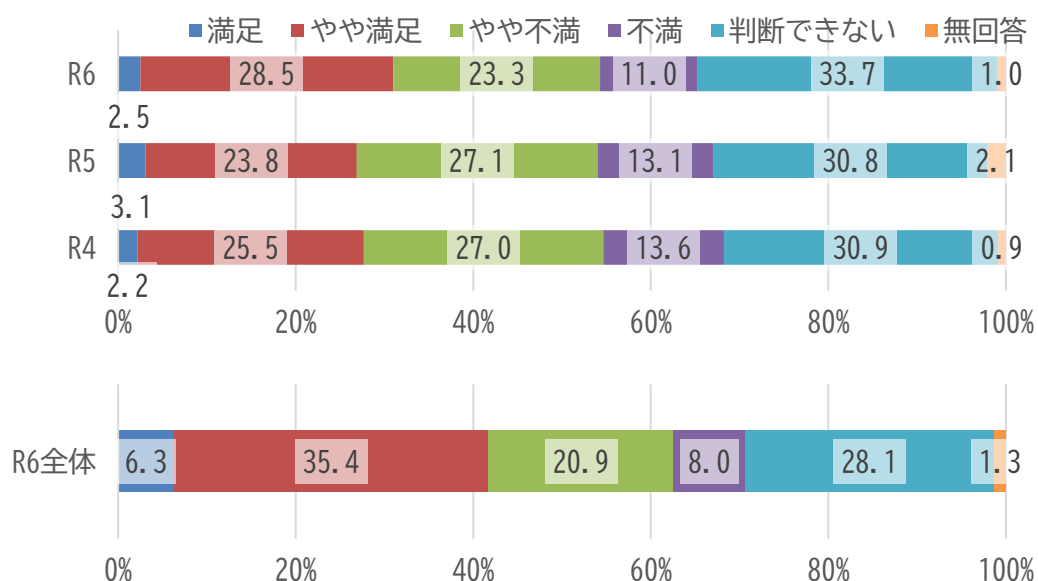
(57 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
健康教育事業（母子）	すくすく親子健康課	P 2
健康相談事業（母子）	すくすく親子健康課	P 2
母子訪問指導事業（母子継続看護事業含む）	すくすく親子健康課	P 3
母子健康診査事業	すくすく親子健康課	P 3
子育て世代包括支援センター事業	すくすく親子健康課	P 4
女性健康支援センター事業	すくすく親子健康課	P 4
ハイリスク妊産婦アクセス支援事業	すくすく親子健康課	P 4
妊娠出産包括支援事業	すくすく親子健康課	P 4
家庭相談事業	こども家庭相談室	P 2
女性相談事業	こども家庭相談室	P 2
子ども家庭見守り・訪問支援事業	こども家庭相談室	P 4
児童虐待防止対策事業	こども家庭相談室	P 4
子ども家庭総合支援拠点事業	こども家庭相談室	P 5
特別支援教育推進事業	こども支援センター	P 3
教育相談・適応指導教室事業	こども支援センター	P 3
子育て情報整備事業	子育て支援課	P 5
時間外（延長）保育事業	こども未来課	P 5
休日保育の実施	こども未来課	P 5
一時預かり保育事業	こども未来課	P 5
病児・病後児保育事業	こども未来課	P 6
軽・中程度障がい児保育事業	こども未来課	P 6
保育研修事業	こども未来課	P 6
認可外保育施設児童対策事業	こども未来課	P 6
保育施設等整備事業	こども未来課	P 6
保育補助者雇上強化事業	こども未来課	P 7
児童福祉施設等産休等代替職員設置事業	こども未来課	P 7
保育士資格等取得支援事業	こども未来課	P 7
保育士修学資金貸付金事業	こども未来課	P 7
私立幼稚園補助金	学校教育課	P 6

私立幼稚園教育研修費補助金	学校教育課	P 7
地域子育て支援センター事業	こども未来課	P 7
子育てサロン支援事業	こども未来課	P 8
つどいの広場事業	こども未来課	P 8
ファミリーサポートセンター事業	子育て支援課	P 8
児童館・児童センター管理運営事業	子育て支援課	P 8
”おすすめ！”キッズブック事業	子育て支援課	P 8
子ども食堂支援事業	子育て支援課	P 8
八戸市ブックスタート事業	図書館	P 8
放課後児童健全育成事業	子育て支援課	P 9
放課後子ども教室推進事業	子育て支援課	P 9
保育料軽減事業	こども未来課	P 9
施設型等給付費支給事業	こども未来課	P 10
実費徴収に係る補足給付事業	こども未来課	P 10
施設等利用給付費支給事業	こども未来課	P 11
児童手当支給事業	子育て支援課	P 9
児童扶養手当支給事業	子育て支援課	P 9
子ども医療費助成事業	子育て支援課	P 9
ひとり親家庭等医療費助成事業	子育て支援課	P 9
遺児等援護対策事業	子育て支援課	P 11
小児慢性特定疾病事業	すくすく親子健康課	P 11
未熟児養育医療給付事業	すくすく親子健康課	P 11
母子家庭等対策総合支援事業	こども家庭相談室	P 10
母子父子寡婦福祉資金の貸付け	こども家庭相談室	P 10
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	こども家庭相談室	P 10
不妊専門相談センター事業	すくすく親子健康課	P 11
不育症検査費用助成事業	すくすく親子健康課	P 11
八戸市次世代エール商品券発行事業	商工課	P 11

(2) 市民アンケートの結果

【設問】妊娠・出産を希望する人が安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠・出産・子育て支援の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 44位／全55問
※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

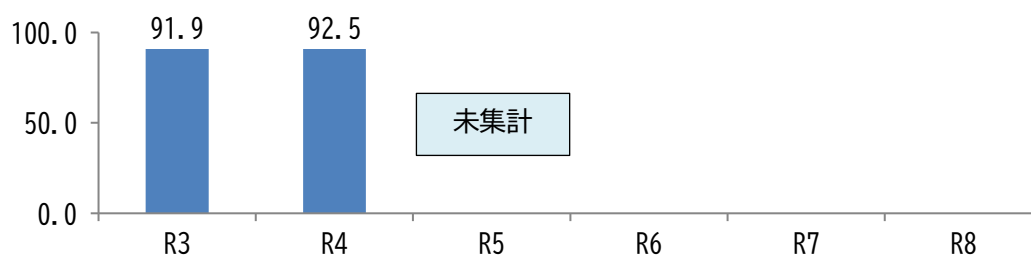
(3) 進行管理指標の動向

①地域で子育てをしたいと思う親の割合

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：子育て世帯を対象としたアンケートで「この地域で子育てをしたい、子育てをしてよかった」と回答した人の割合

(単位：%)

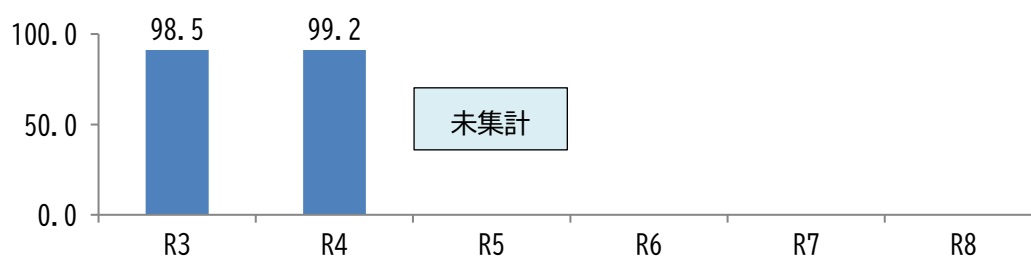


②母子健康診査受診率（妊婦健康診査）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：妊婦健康診査受診率

(単位：%)

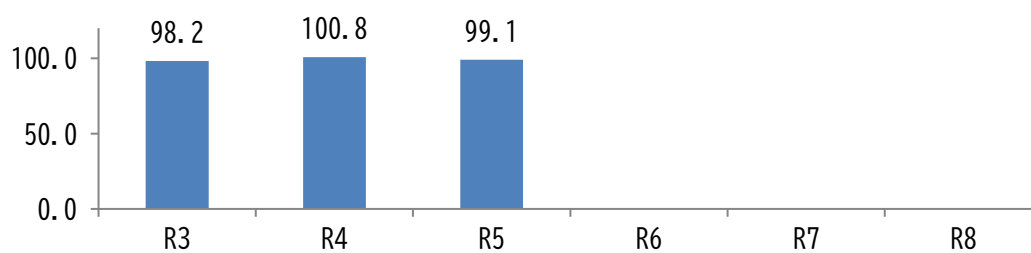


③母子健康診査受診率（3歳児健康診査）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：3歳児健康診査受診率

（単位：％）

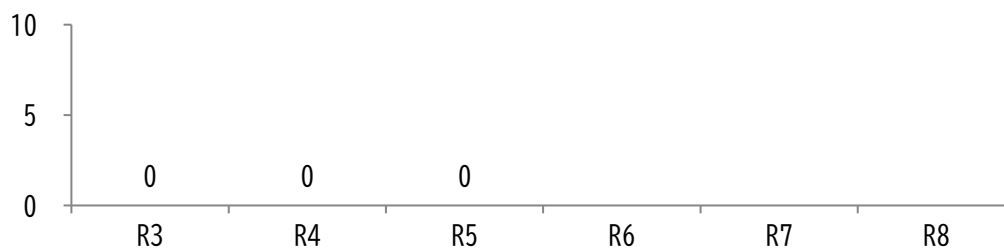


④待機児童数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：保育の必要性が認定され、特定教育・保育施設等の利用申込みをしているが、入所できない児童（ただし、特定の保育施設のみを希望している場合は除く）

（単位：人）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- つどいの広場（こどもはっち）や地域子育て支援センター、子育てサロンでは、遊びの場や親同士の交流の場の提供、子育て相談等を行っており、利用者からも好評をいただいている。コロナの影響により利用者が減少していたが、広報はちのへや動画制作など情報発信の強化を図ることで、徐々に利用者が回復してきている。
- 新たに、新生児聴覚検査の助成のほか、乳児の健康診査を4回（無償）に増やし、股関節脱臼検診の費用を無償化することを始めたほか、従来からの事業についても着実に取り組んでいることにより、高水準で受診率が推移している。
- 育児や健康に関する正しい知識を学ぶための子育て出前講座を実施しているところであるが、出前講座を希望する団体が増えていることから、市民への普及啓発が進んできている。
- 病児・病後児保育事業では、スマートフォンなどを利用して予約やキャンセルができる病児保育ネット予約サービスを新たに開始した。
- 子ども医療費助成事業では、令和6年1月分から保護者の所得制限を撤廃したほか、令和6年10月分から高校生等の通院を助成対象とし、子ども医療費の完全無償化を実施する予定である。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策３．就学前教育の充実

目 指 す 姿	・ 就学前の子どもが小学校入学後に速やかに学校生活に順応できている。
施策の内容	就学前教育施設が行う幼児教育の提供や教育環境の整備を支援するとともに、小学校教育への円滑な接続に向けた幼稚園・認定こども園・保育所・小学校との連携を推進します。また、子育て世代包括支援センター、こども家庭相談室、こども支援センターの連携による相談体制の充実を図ります。

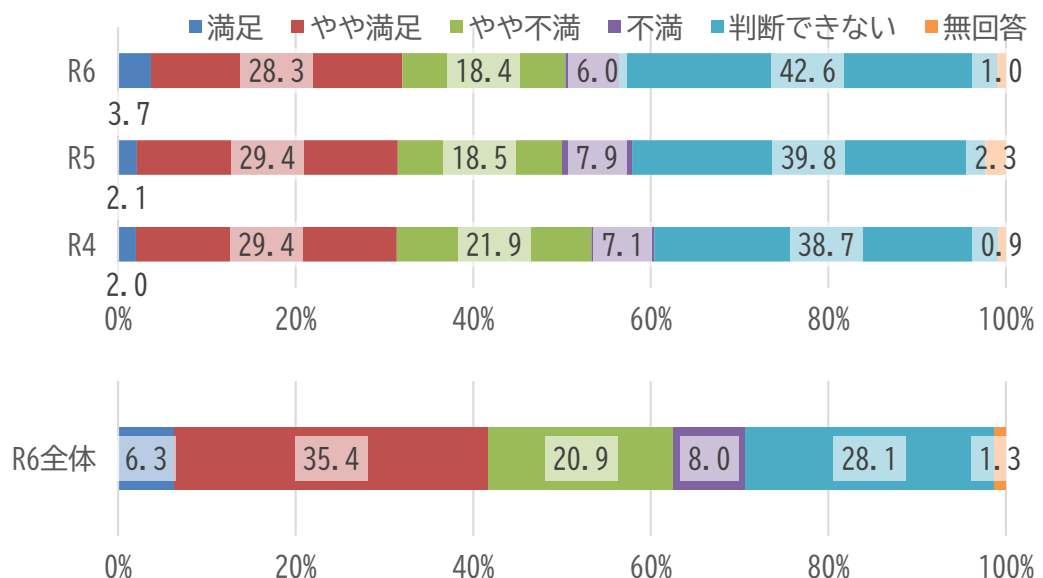
（１）施策を推進するための事務事業

（10 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
保育研修事業	こども未来課	P 12
保育施設等整備事業	こども未来課	P 12
医療的ケア児保育支援事業	こども未来課	P 12
送迎用車両安全装置導入支援事業	こども未来課 障がい福祉課	P 12
私立幼稚園補助金	学校教育課	P 12
私立幼稚園教育研修費補助金	学校教育課	P 12
幼保小連携推進事業	教育指導課	P 13
子育て世代包括支援センター事業	すくすく親子健康課	P 13
子ども家庭総合支援拠点事業	こども家庭相談室	P 13
特別支援教育推進事業	こども支援センター	P 13

（２）市民アンケートの結果

【設問】就学前の子どもが小学校入学後に速やかに学校生活に順応できるよう、子ども一人一人の発達に応じた支援や相談体制の構築など、就学前教育の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 28 位／全 55 問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

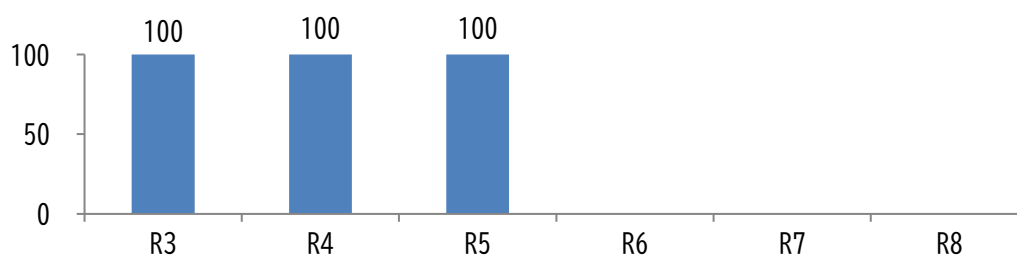
（３）進行管理指標の動向

①小学校における就学前教育施設との 交流活動・参観等の実施率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：小学校と幼稚園・認定こども園・保育所が、交流や保育・教育活動の相互参観、
情報交換等を実施した率

（単位：％）

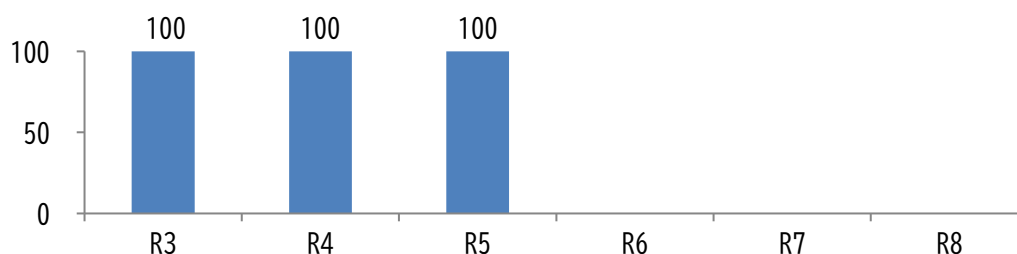


②幼児教育アドバイザー及び幼児相談員 による巡回相談の実施率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：幼稚園・保育所・認定こども園からの依頼に対して、幼児教育アドバイザー及
び幼児相談院員による巡回相談を実施した園・所の割合

（単位：％）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 全ての小学校と幼稚園等において、教職員間での情報交換や相互参観を通じて相互理解を図る取組が行われた。
- 幼児教育アドバイザー及び幼児相談員による巡回相談については、依頼がある全ての園に対して実施できるよう体制を整えており、昨年度に引き続き、全ての依頼に対応できた。
- 保育施設等整備事業では、毎年度2施設を順次実施する計画としているが、計画どおり順調に整備が進められたほか、医療的ケア児保育支援事業では、医療的ケア児の受入れに関するガイドラインを策定するとともに、受入れ園への補助事業を開始したところである。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策4. 小・中学校教育の充実

目 指 す 姿	・郷土を愛し、夢や希望をもち、自分自身や未来をしっかりと見つめ、「生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）」を身につけた児童生徒が育っている。
施策の内容	地域密着型教育の推進や教職員の指導力向上を図るとともに、英語教育の推進やＩＣＴ環境の整備による教育の情報化に取り組みます。また、学校施設の老朽化対策や計画的な整備を進めるとともに、特別な教育的支援が必要な児童生徒に対する教育の充実を図ります。

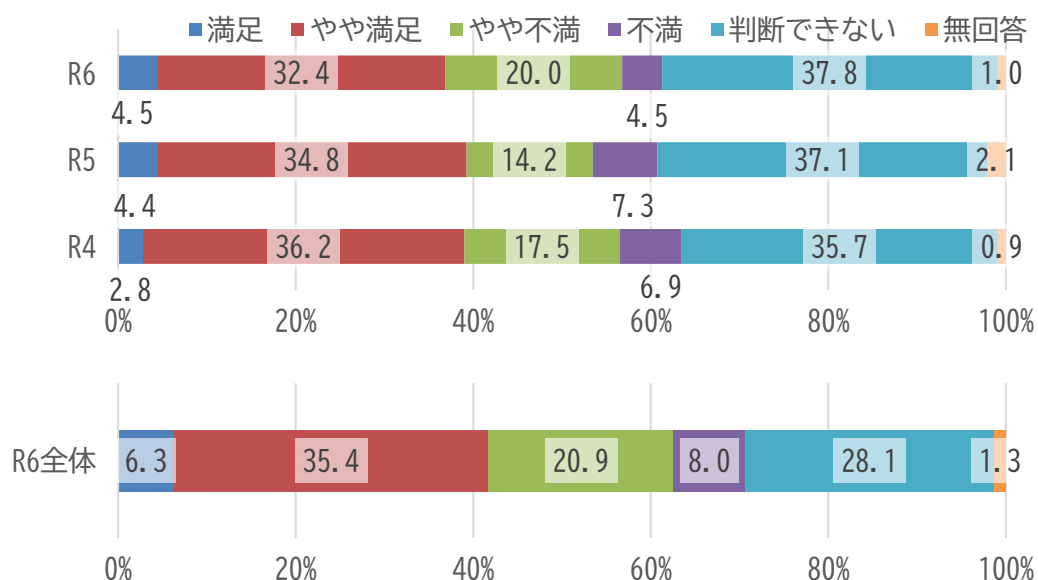
(1) 施策を推進するための事務事業

(31 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
八戸市児童・生徒の健康と体力の発刊	学校教育課	P 14
栄養教諭・学校栄養職員を活用した食に関する指導	学校教育課	P 14
地域密着型教育推進事業	教育指導課	P 14
小・中ジョイントスクール事業	教育指導課	P 14
南部藩ゆかりの都市との交流事業	教育指導課	P 14
マイブック推進事業	教育指導課	P 15
広域的体験学習支援事業	教育指導課	P 15
ひらく・楽しむ新聞活用事業	教育指導課	P 15
こころのプロジェクト「夢の教室」事業	教育指導課	P 15
国際理解教育・英語教育推進事業	総合教育センター	P 14
視聴覚センター各種体験活動	総合教育センター	P 15
G I G Aスクール構想推進事業	総合教育センター	P 16
調べる学習コンクール事業	図書館	P 15
教職員研修事業	総合教育センター	P 16
小・中学校整備事業	教育総務課	P 16
児童生徒体育文化活動振興事業	学校教育課	P 17
保健体育事業	学校教育課	P 17
通学支援事業	学校教育課	P 17
要・準要保護児童生徒扶助費	学校教育課	P 18
小・中学校スポーツ・文化的活動支援事業	学校教育課	P 18
学校図書館支援事業	教育指導課	P 17
スクールソーシャルワーカー活用事業	教育指導課	P 18
学校図書館ネットワーク事業	総合教育センター	P 16
教育の情報化推進事業	総合教育センター	P 17
児童科学館改修事業	総合教育センター	P 18
特別支援教育就学奨励費	学校教育課	P 19
特別支援教育アシスト事業	こども支援センター	P 19
特別支援教育推進事業	こども支援センター	P 19
教育相談・適応指導教室事業	こども支援センター	P 19
教育支援事業	こども支援センター	P 19

(2) 市民アンケートの結果

【設問】児童生徒が郷土への愛着や誇りをもつとともに、生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）を身につけられるよう、小・中学校教育の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 23位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

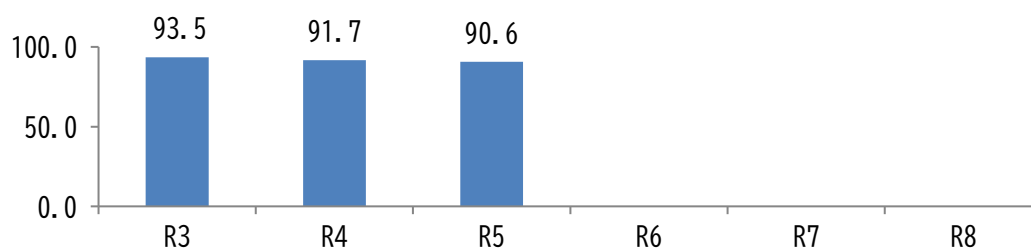
(3) 進行管理指標の動向

①学力実態調査（「学校の授業はよく分かる」と回答した児童生徒の割合（小学6年生、中学3年生））

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：「とてもそう思う」「少しそう思う」と回答した児童生徒の割合（小学6年生・中学3年生）

（単位：％）

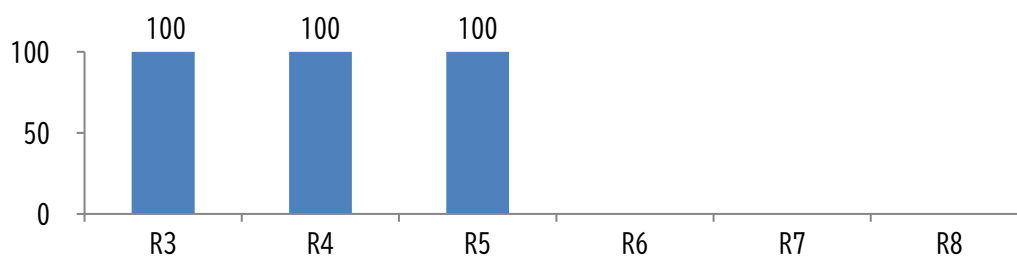


②地域密着型教育の実施率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市内小・中学校の地域密着型教育実施校の割合

（単位：％）

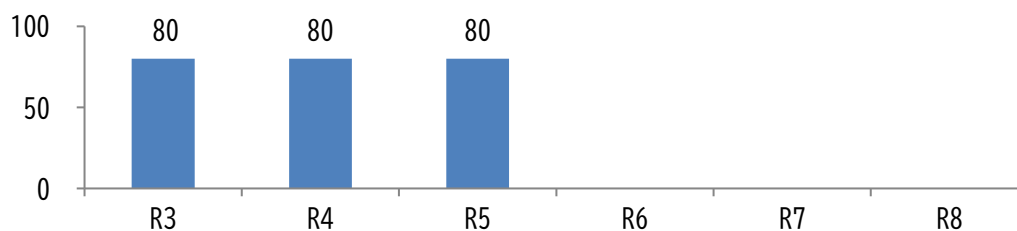


③特別支援アシスタントの配置数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：特別支援教育アシスト事業の特別支援アシスタント配置人数

（単位：人）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 教育現場においては、各学校で児童生徒の学びを保障するために創意工夫して教育活動が行われたほか、地域学校連携協議会を通じて「開かれた学校づくり」が進み、保護者・地域住民による学校支援ボランティア活動が行われている。
- 特別支援アシスタントについては、学校の実情に合わせて複数配置するなど、適正な配置を図っている。
- 令和5年度は教職員に対する研修講座のうち9講座において、1人1台端末の活用に係る内容を取り扱うことでICT指導力の向上を図ったほか、試験的にwebフィルタリングソフトを導入し、1人1台端末持ち帰りを推進するための環境整備と利活用の促進を図ること等を通じて、GIGAスクール構想に基づく取組を着実に推進している。
- 学校における冷房設備の新設や防音機能の復旧事業など、ハード面の整備においても計画的に進んでいる。
- 小・中学校スポーツ・文化的活動支援事業においては、中学校部活動の地域移行に向けた検討協議会を開催し、今後の具体的な方向性について検討が進められている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策5. 高等学校教育・高等教育の充実

目指す姿	・修学を希望する人が、経済的な理由に妨げられることなく高等学校教育・高等教育を受ける機会が確保されている。 ・郷土に愛着や誇りを持つ人材が育成され活躍している。
施策の内容	高校生や大学生等への経済的支援に取り組むとともに、私立高等学校の教育環境の充実を図ります。また、高等教育機関との連携により、大学生等が地域の産業や文化を学ぶ機会の創出を図ります。

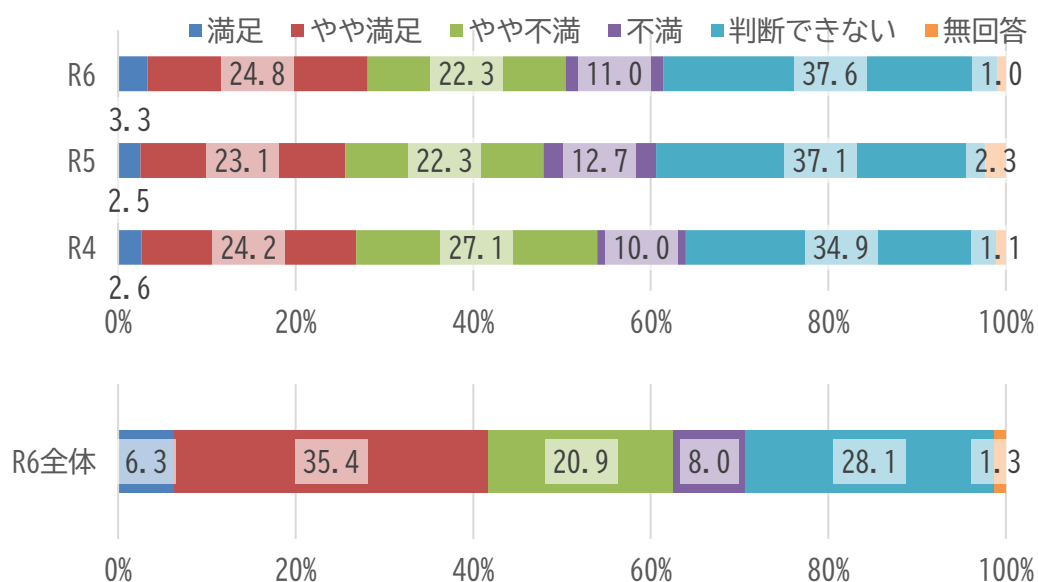
(1) 施策を推進するための事務事業

(3事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
八戸市奨学金制度	学校教育課	P 20
私立高等学校助成補助金	学校教育課	P 20
八戸産学官連携推進事業	政策推進課	P 20

(2) 市民アンケートの結果

【設問】修学を希望する高校生や大学生等への経済的支援や私立高等学校への支援、高等教育機関との連携による人材育成など、高等学校教育・高等教育の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 47位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

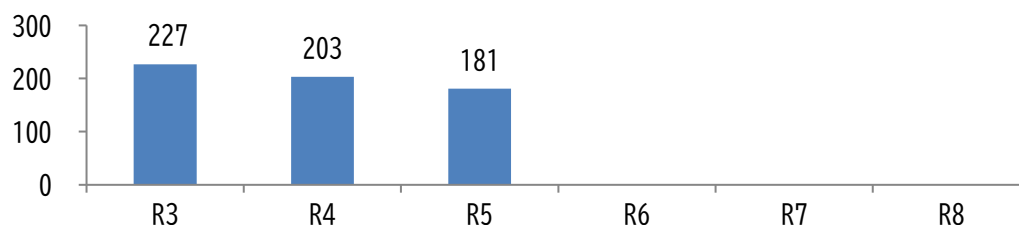
(3) 進行管理指標の動向

①奨学金の貸与・給付件数

資料：八戸市教育委員会（各年度集計）

指標の定義：高校生・大学生等に対する奨学金の貸与・給付件数

(単位：件)

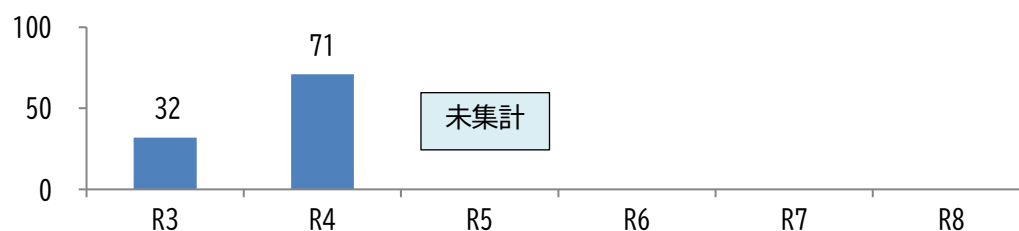


②高等教育機関が実施する地域を学ぶ講義数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸学院大、八戸学院短期大、八戸工業大学、八戸高等工業専門学校の4校で実施している八戸地域を学ぶ講義数

(単位：件)

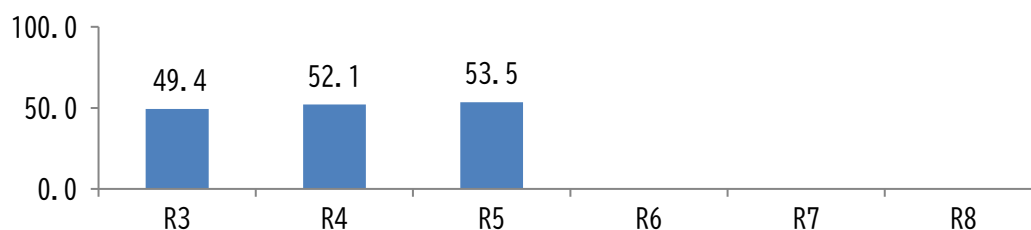


③大学等への進学率

資料：青森県教育委員会（各年度集計）

指標の定義：大学(学部)、短期大学(本科)、大学・短期大学の通信教育部(正規の課程)及び放送大学(全 科履修生)、大学・短期大学(別科)、高等学校(専攻科)及び特別支援学校(盲学校・聾学校・養護学校)高等部(専攻科)への進学率

(単位：%)

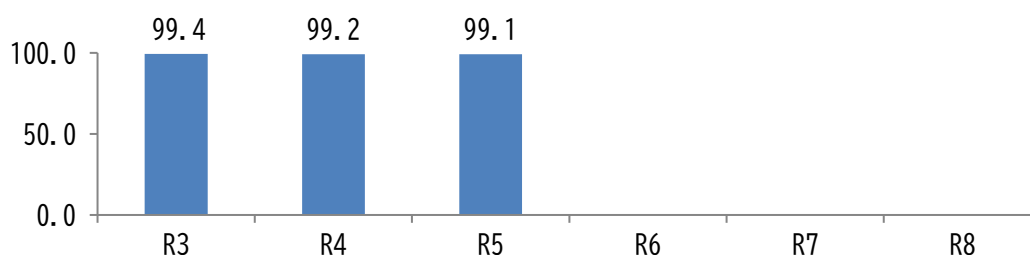


④高校への進学率

資料：青森県教育委員会（各年度集計）

指標の定義：高校への進学率

（単位：％）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- 若者の地域への理解や愛着の醸成を育み、地元定着に繋げることを目的として、産学官が連携して実施する「八戸地域学」（市内高等教育機関共通講義）では、約８割の学生から「講義内容が興味深い」、「八戸市への興味・関心が増した」との評価を得ており、学生が地域の産業や文化などを学ぶ機会を創出できている。
- 八戸市奨学金制度は、全国の中核市と比較しても、既に給付金額、募集人数等、総合的な充実度において高い水準にあるものの、大学卒の応募人数が募集人数を大きく上回る状況が続いていることから、給付型奨学金（大学卒）の募集人数を増やすといった更なる制度の拡充に向けて、計画的に事務手続きを進めている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

■ 施策の方向性Ⅱ 教養・文化・スポーツを通し人生を豊かにする

施策１．社会教育の充実

目 指 す 姿	・ 市民が生涯にわたって自由に学ぶことができる場が提供されている。 ・ 家庭でのしつけや教育に関する多くの不安や悩みが解消されている。 ・ 次代を担う青少年が地域と関わりながらたくましく成長している。
施策の内容	地区公民館や八戸市博物館、八戸市美術館、是川縄文館などにおいて、それぞれの特色を活かした生涯学習の場を提供するとともに、多様な市民ニーズに応じた学習内容の充実を図ります。また、各種研修会の開催や相談体制の整備を通じて家庭の教育力向上の促進を図るとともに、学校・家庭・地域の連携による青少年の健全育成のための環境づくりを推進します。

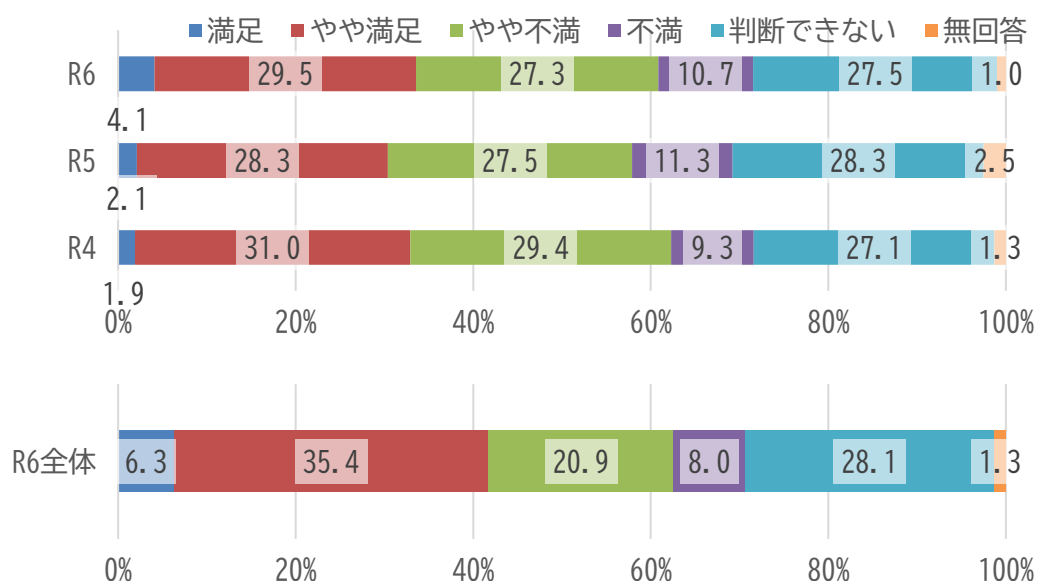
（１）施策を推進するための事務事業

（15 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進	社会教育課	P 21
八戸市民大学講座	社会教育課	P 21
市民ＩＴ講習会事業	社会教育課	P 21
放送大学支援事業	社会教育課	P 21
公民館講座事業	社会教育課	P 21
先人周知事業	社会教育課	P 22
是川縄文館特別展・体験学習等開催事業	是川縄文館	P 22
教職員研修事業	総合教育センター	P 22
移動図書館運営事業	図書館	P 22
博物館各種展覧会・体験学習等開催事業	博物館	P 22
家庭の教育力充実事業	社会教育課	P 22
教職員研修事業	総合教育センター	P 23
少年相談センター運営事業	教育指導課	P 23
青少年（中・高生）の地域活動事業	教育指導課	P 23
成人式開催事業	社会教育課	P 23

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が生涯にわたって自由に学ぶことのできる場の提供や学校・家庭・地域の連携による青少年の健全育成など、社会教育の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 45位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

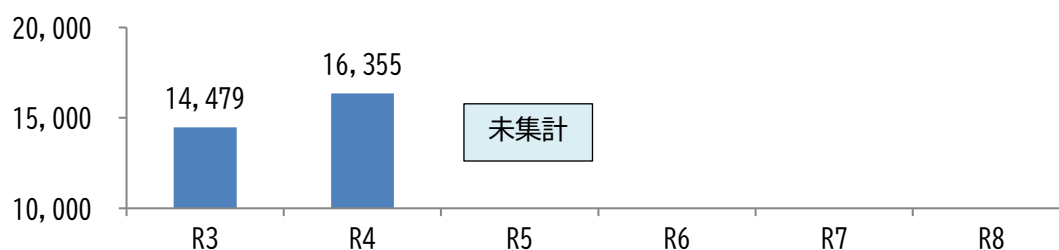
(3) 進行管理指標の動向

①各地区公民館における各種講座の参加者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：公民館活動教室、青年学級、女性学級、高齢者教室、市民学校、家庭教育学級、移動公民館などの参加者数

(単位：人)

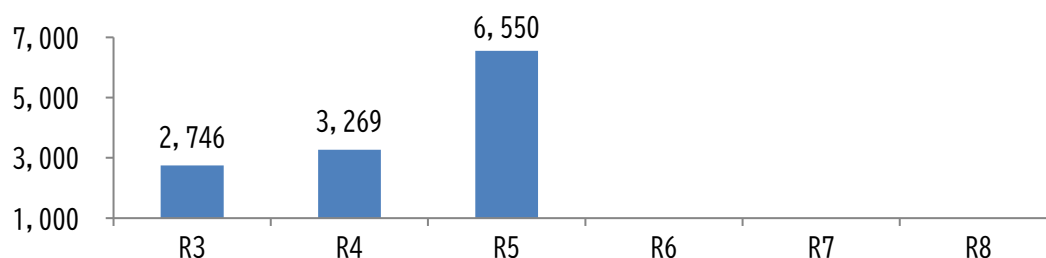


②家庭教育に関する研修会や講座等の参加者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：家庭教育研修会、子育て・親育ち講座、幼稚園家庭教育学級事業の参加者数

(単位：人)

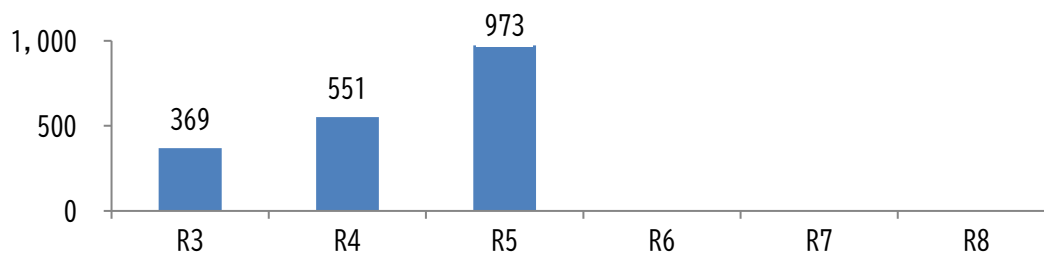


③中学生・高校生のボランティア活動者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：中学生・高校生のボランティア活動人数

（単位：人）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

ｂ．順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- 家庭の教育力充実事業の認知度向上により、家庭教育に関する研修会等が小学校で積極的に開催され、参加者が増加傾向にある。
- 八戸花火大会やおまつり広場等の一般行事や、公民館行事においても中高生のボランティア活動に参加した人数が増加傾向にあり、中高生たちの地域社会の一員としての自覚や地域への関心が深められたとともに、健全な仲間づくりを促すことができた。
- 博物館や是川縄文館では、新規イベントや特別展等の展示内容により、施設入館者が増加した。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策２．文化芸術の振興

目 指 す 姿	・多様で特色ある市民の文化芸術活動が展開され、市民が豊かな人間性や創造力、感性を育むことができる。
施策の内容	市民の文化芸術活動への経済的支援に取り組むとともに、八戸ポータルミュージアム「はっち」や八戸市美術館、八戸市公会堂などの拠点施設を活用した文化芸術活動の促進や施設間の連携、各種文化プログラムを推進します。

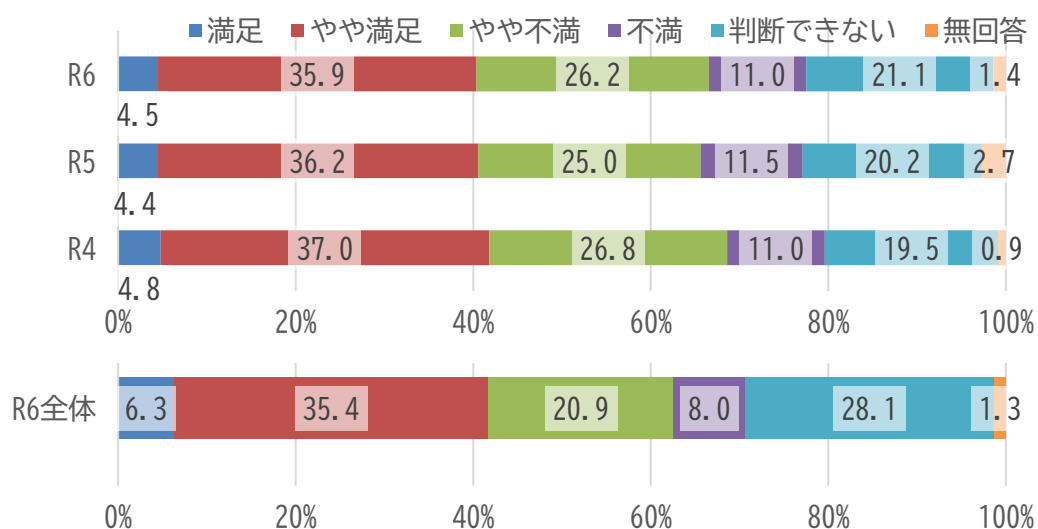
（１）施策を推進するための事務事業

（12 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
アートのまちづくり事業	文化創造推進課	P 24
八戸ブックセンター事業	文化創造推進課	P 24
”おすすめ！”キッズブック事業	子育て支援課	P 24
八戸市ブックスタート事業	図書館	P 24
市民による多彩な文化芸術活動振興事業	文化創造推進課	P 24
連携・協働を推進するプラットフォーム事業	文化創造推進課	P 25
文化施設運営事業	文化創造推進課	P 25
文化事業と商業機能との連携事業	文化創造推進課	P 25
文化施設の文化プログラムの充実・連携事業	文化創造推進課	P 25
情報発信事業	文化創造推進課	P 25
5館連携アートプロジェクト事業	美術館 八戸ポータルミュージアム 観光課	P 25
八戸市美術館運営事業	美術館	P 25

（２）市民アンケートの結果

【設問】市民が豊かな人間性や創造力、感性を育むことができるよう、文化芸術の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 33位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

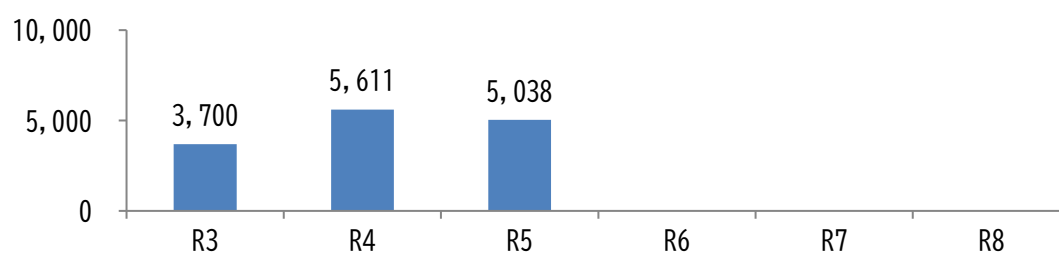
（3）進行管理指標の動向

①文化プログラムの参加者・鑑賞者数 （八戸ポータルミュージアム）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸ポータルミュージアムでの文化プログラムの参加者・鑑賞者数

（単位：人）

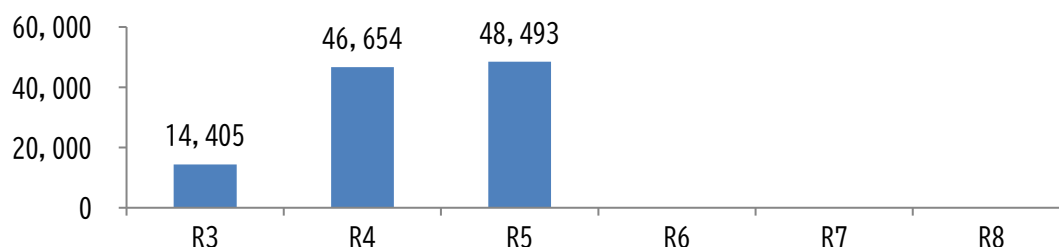


②文化プログラムの参加者・鑑賞者数 （美術館）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：美術館での文化プログラムの参加者・鑑賞者数

（単位：人）

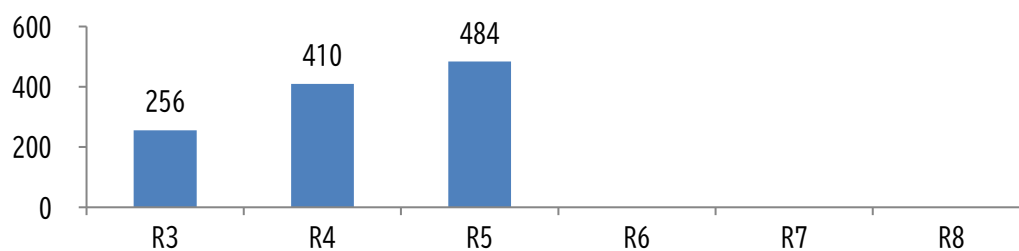


③読書会ルーム・カンヅメブースの利用件数 （八戸ブックセンター）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：読書会ルーム（貸館・自主事業）、カンヅメブースの利用件数

（単位：件）



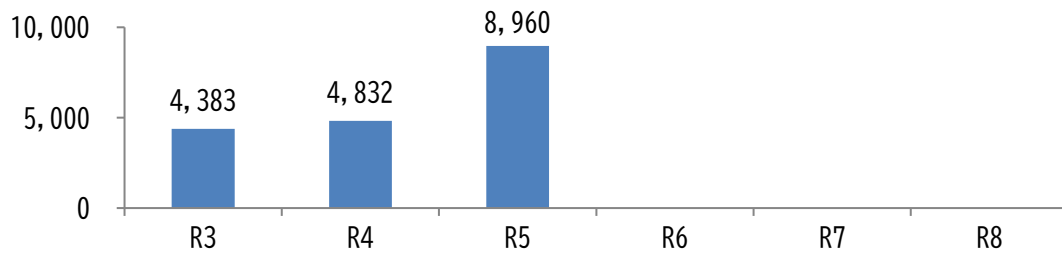
④市民等主催の文化芸術活動件数

(八戸ポータルミュージアム「はっち」、八戸まちなか広場「マチニワ」、
公会堂、市公民館ホール・南郷文化ホール、南部会館・更上閣、八戸市美術館)

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市内文化施設における市民等が主催する文化芸術活動の件数

(単位：件)

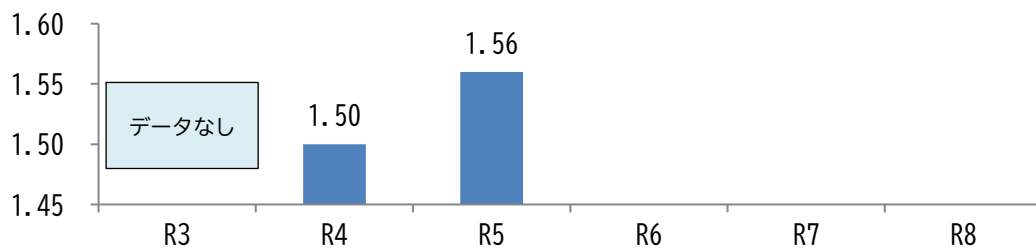


⑤文化施設利用者の施設に対する満足度

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸ポータルミュージアム、美術館、公会堂、市公民館ホール、南郷文化ホールの満足度についてアンケートを実施し、点数化したもの

(単位：点)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 各文化施設における利用状況は、新型コロナウイルスの影響から回復傾向にあると見られ、各文化施設で実施している満足度調査においても、概ね良い評価が得られている。
- 読書会ルーム・カンヅメブースに関しては、前年度に引き続き利用件数が増加しており、企画事業の充実等により、認知度の向上が見られるものとする。
- 美術館運営に関しては市企画展、特別貸館による知名度の高い展覧会、幅広い年代が参加しやすいアートプロジェクトなどの開催により、美術館に馴染みのない層が訪れるきっかけとなり、観覧者の増加に繋がっている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↓

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策3. スポーツの振興

目 指 す 姿	・市民が生涯にわたって、スポーツに親しむことができる。
施策の内容	市民のスポーツ活動の促進やプロスポーツチームの試合観戦の機会を提供するとともに、選手・指導者などスポーツに関わる人材の育成やスポーツの競技力向上を図ります。また、当市で開催される各種スポーツ大会の運営を支援するとともに、老朽化や利用者ニーズに対応したスポーツ施設の整備に取り組みます。

(1) 施策を推進するための事務事業

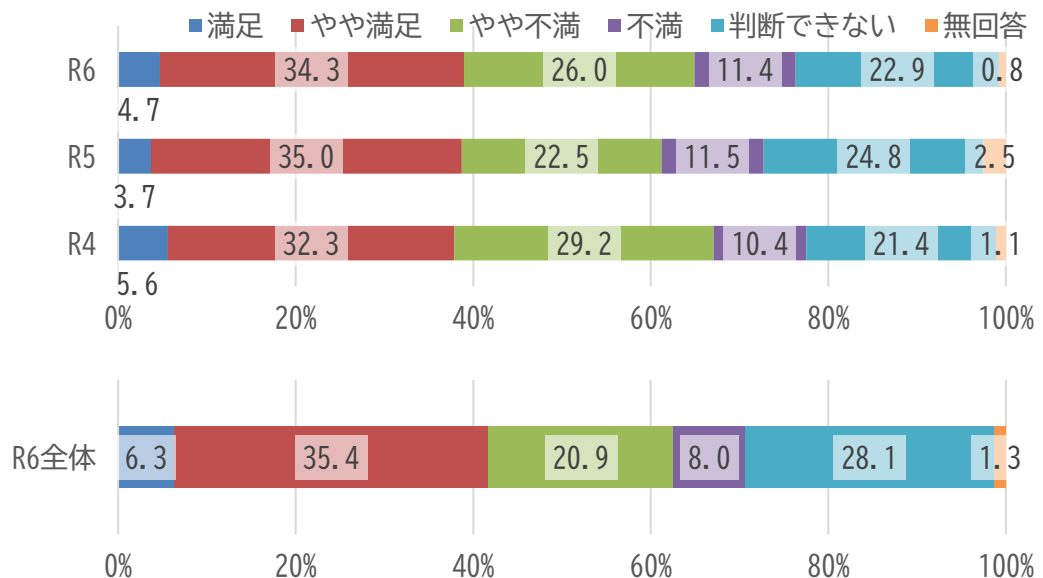
(16 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
スポーツ施設維持管理事業	スポーツ振興課	P 26
氷都八戸パワーアッププロジェクト事業	スポーツ振興課	P 26
はちとまジュニアアイスホッケー交流事業	スポーツ振興課	P 26
八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会設置事業	スポーツ振興課	P 26
地域スポーツチーム応援事業	スポーツ振興課	P 26
スポーツ推進委員研修事業	スポーツ振興課	P 27
スポーツ賞等表彰事業	スポーツ振興課	P 27
レスリングのまち推進事業	スポーツ振興課	P 27
屋内スケート場活用事業	長根屋内スケート場	P 27
スポーツ少年団運営支援事業	スポーツ振興課	P 28
地区体育振興事業	スポーツ振興課	P 28
各種スポーツ大会運営補助事業	スポーツ振興課	P 28
競技大会選手等派遣補助事業	スポーツ振興課	P 28
スポーツ施設整備事業	スポーツ振興課	P 29
フラットアリーナ利用促進事業	スポーツ振興課	P 29
新体育館整備事業	スポーツ振興課	P 30

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が生涯にわたってスポーツに親しむ（スポーツを「する」「みる」「ささえる」）ことができるよう、スポーツの振興が図られている。

※「ささえる」：地域でスポーツの指導を行ったり、スポーツ大会等の運営に携わったりすること。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 35位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

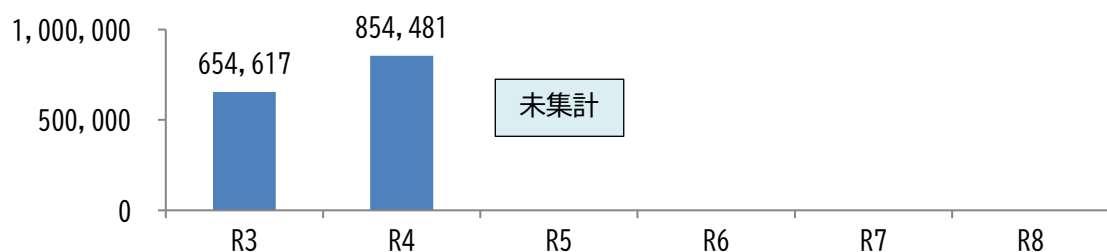
(3) 進捗管理指標の動向

① スポーツ施設の利用者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：体育施設の来館（場）者（利用者）数

（単位：人）

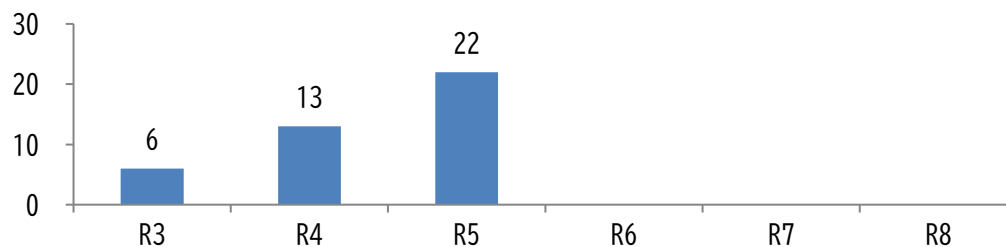


②スポーツにおける各賞の受賞者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸市スポーツ賞の各賞受賞者人数

（単位：人）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- スポーツ施設の利用者が増加しているとともに、スポーツにおける各賞の受賞者数については、スポーツ大会の再開による受賞者数の回復に加え、障害者スポーツ大会の受賞者が増加したほか、当市のスポーツ活動の拠点やレクリエーション等の場として、大きな役割を担う八戸市体育館の建て替えについて、計画的に準備を進めている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

・ ・

政策２ 「経済」を回す（政策分野：産業・雇用）

<基本的な考え方>

地域経済は、市民の生活を支え都市の成長発展を促す基盤であり、人々の暮らしの豊かさや地域の活力をさらに高めていくためには、企業活動や労働で生み出された経済的な価値やサービスを停滞させることなく分配・消費につなげるサイクルを促進し、経済活動を活発化させることが重要です。

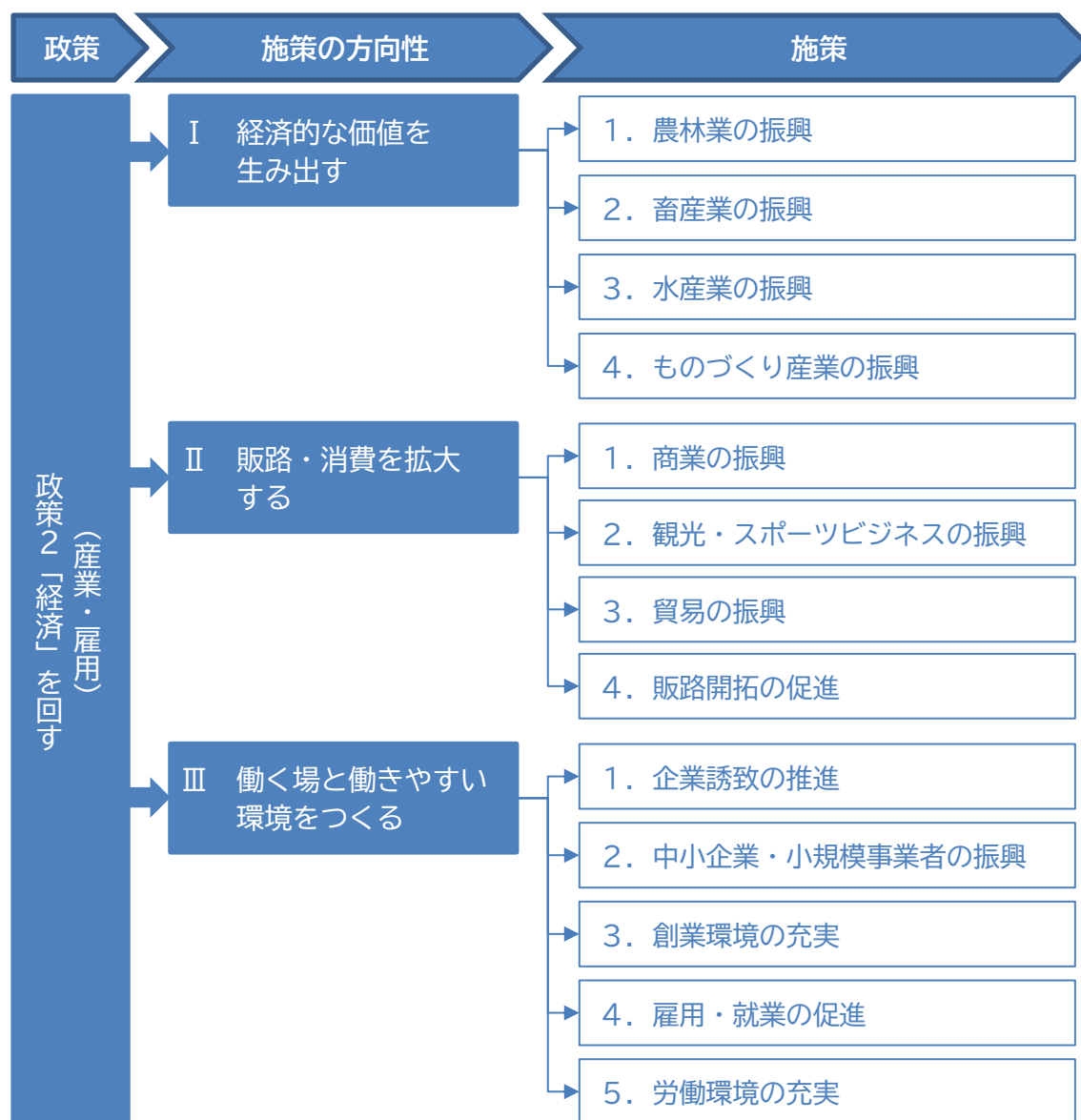
これまで、当市では、多様な産業がひとつのまちに集積する地域特性を活かし、経済のグローバル化に対応しつつ、産業間・異業種間・企業間連携の促進や創業支援の充実を図りながら、地域で事業活動を行う農林畜産業、水産業、商工業など、全ての産業の基盤強化と経営の高度化を促進するとともに、雇用環境の充実を図ることで地域の「経済」を回してきました。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけとして、世界各国でデジタル化が進展し、日本においても企業のデジタル投資が加速するとともに、ＩＣＴを活用した働き方改革が普及するなど地域経済を取り巻く環境が大きく変革しており、地域の経済活動を更に活発化させるためには、これらの変化に適切に対応しながら地域経済を一層循環させる必要があります。

このようなことから、当市では、農林業や畜産業、水産業、ものづくり産業の振興を図り、経済的な価値を生み出すとともに、商業や観光・スポーツビジネス、貿易の振興、販路開拓の促進を図ることで、市場における販路と消費の拡大を促します。

さらに、人々の働く場と働きやすい環境をつくるため、企業誘致の推進や、中小企業・小規模事業者の振興、創業環境の充実、雇用・就業の促進、労働環境の充実を図ります。

< 施策の体系 >



■ 施策の方向性 I 経済的な価値を生み出す

施策 1. 農林業の振興

目 指 す 姿	・ 農業の担い手が確保され、付加価値の高い農作物の生産が行われるとともに、地域内外に新鮮かつ多彩な農産物が安定的に供給されている。 ・ 森林整備の担い手が確保され、森林の適正な整備が行われるとともに、地域材が広く利用されている。
施策の内容	農地集積の促進や中山間地域における農村環境づくりの推進など農業基盤の整備を図ります。また、新規就農者や森林整備の担い手の育成・確保を図るとともに、付加価値の高い農業生産の促進や、卸売市場の環境整備を進めます。さらに、森林の適正な保全・管理に取り組むとともに、地域材の利用促進を図ります。

(1) 施策を推進するための事務事業

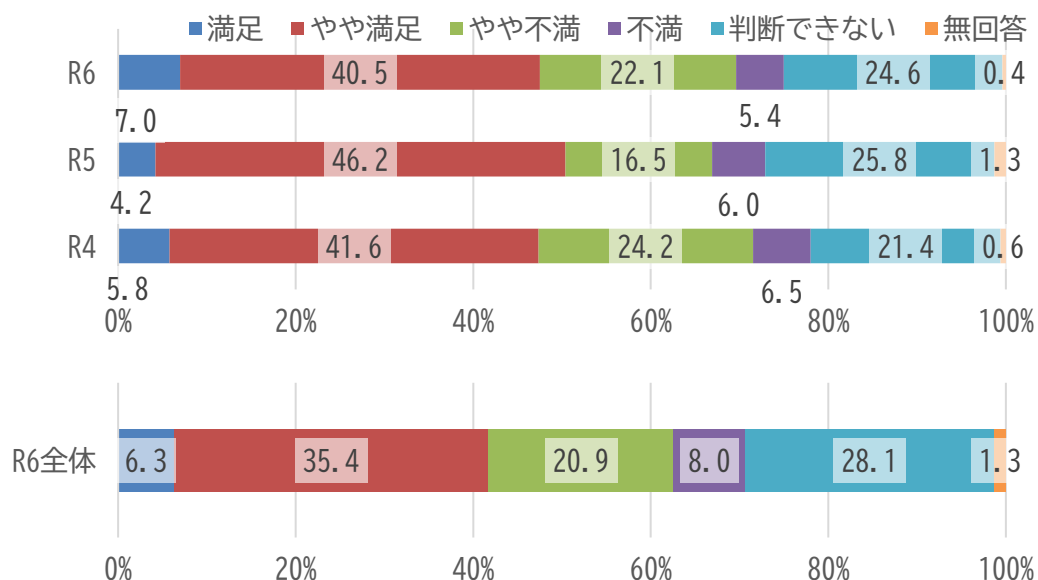
(33 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
経営所得安定対策等事業	農林畜産課	P 31
中山間地域等直接支払対策事業	農林畜産課	P 31
多面的機能支払交付金	農林畜産課	P 31
土壌分析・診断・改善事業	農業経営振興センター	P 31
農地集積事業	農業経営振興センター	P 31
農業制度資金利子補給事業	農業経営振興センター	P 31
租税特別措置法に係る事務事業	農業委員会事務局	P 32
農業者年金業務事業	農業委員会事務局	P 32
農地転用に関する事務事業	農業委員会事務局	P 32
農地等の権利移転・設定に関する事務事業	農業委員会事務局	P 32
遊休農地解消活動事業	農業委員会事務局	P 32
農林水産物安全・安心モニタリング調査事業	農林畜産課	P 33
環境保全型農業普及促進事業	農業経営振興センター	P 32
野菜等産地力強化支援事業	農業経営振興センター	P 32
農業新ブランド育成事業	農業経営振興センター	P 33
南郷新規作物研究事業	農業経営振興センター	P 33
農林水産物安全・安心モニタリング調査事業（県）	農業経営振興センター	P 33
畑作振興対策事業	農業経営振興センター	P 33
野菜花き展示普及事業	農業経営振興センター	P 33
漆産業振興事業	農林畜産課	P 35
グリーン・ツーリズム推進事業	農業経営振興センター	P 34
担い手総合支援事業	農業経営振興センター	P 34
地域農業経営再開復興支援事業	農業経営振興センター	P 34
企業等農業参入支援事業	農業経営振興センター	P 34

高等教育機関との連携による農業経営者の育成	農業経営振興センター	P 34
農地利用効率化等支援事業	農業経営振興センター	P 34
市民農園設置事業	農業経営振興センター	P 34
情報活動事業	農業委員会事務局	P 35
農家相談活動事業	農業委員会事務局	P 35
除間伐等実施事業	農林畜産課	P 35
公有林（市民の森）整備事業	農林畜産課	P 35
公共建築物への地域材の利用促進	農林畜産課	P 35
中央卸売市場電気設備改修事業	中央卸売市場	P 35

（２）市民アンケートの結果

【設問】付加価値の高いブランド野菜（八戸いちごやワイン用ぶどうなど）の生産や新鮮かつ多彩な農産物の安定供給、地域森林資源の活用など、農林業の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 15位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

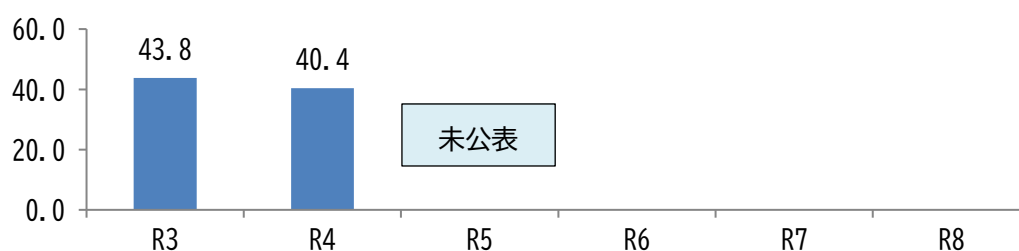
（３）進行管理指標の動向

①農業産出額（耕種）

資料：農林水産省（各年集計）

指標の定義：国の市町村別農業産出額（推計）の数値

（単位：億円）

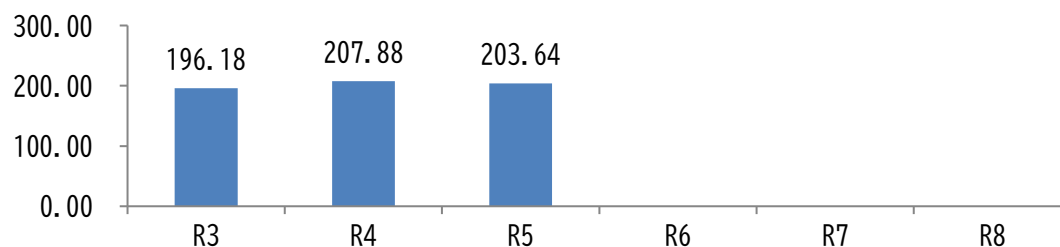


②森林経営計画認定実績

資料：八戸市（各年集計）

指標の定義：森林経営計画の認定面積

（単位：ha）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

ｂ．順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- 各種施策により認定新規就農者が４名増加したほか、農地中間管理機構を活用した農地集積が進展している。
- 森林経営計画の認定面積は概ね横ばいであり、森林経営管理制度や漆産業振興事業等の推進により林業の振興を図っている。
- 資材価格の高騰により影響を受けている農業者の経営維持を目的として農業用資材価格高騰対策支援金を３４０件、約４６，５００千円を交付し、農業経営の継続支援を図った。
- 中央卸売市場について、電気機器の更新など施設整備について計画どおりに進んでいる。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策２．畜産業の振興

目 指 す 姿	・ 畜産業及び関連産業の経営が安定して行われるとともに、事業規模の拡大が進められている。 ・ 地場産畜産物が地域内外で認知され、消費拡大が図られている。
施策の内容	地場産畜産物の生産体制の整備・強化や、地域住民の畜産業に対する理解促進を図るとともに、地域内外での地場産畜産物の認知度向上・消費拡大に向けた取組を推進します。

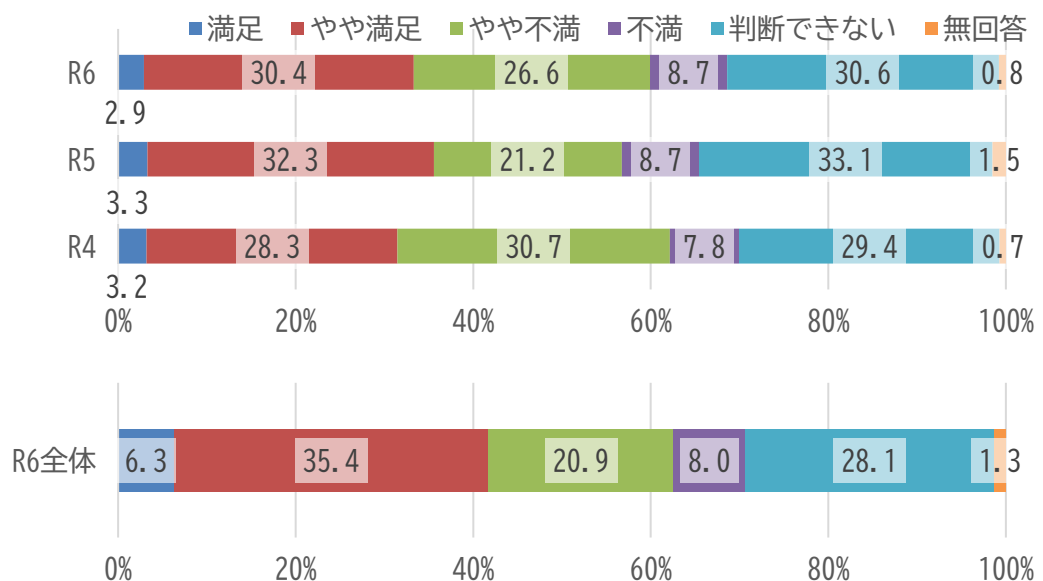
（１）施策を推進するための事務事業

（２事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
畜産業振興事業	農林畜産課	P 36
畜産関連産業振興事業	農林畜産課	P 36

（２）市民アンケートの結果

【設問】地場産畜産物の地域内外での認知度向上や消費拡大など、畜産業の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 42位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

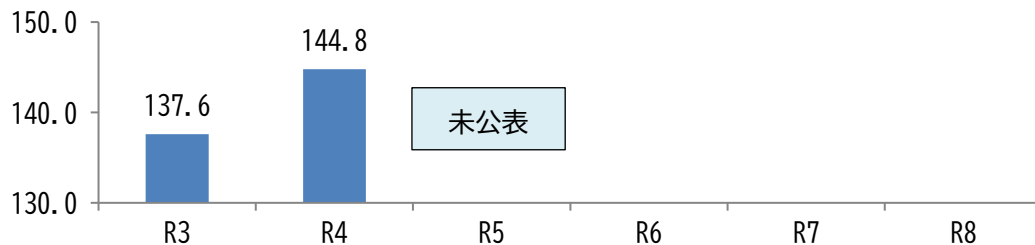
(3) 進行管理指標の動向

①農業産出額（畜産）

資料：農林水産省

指標の定義：国の市町村別農業産出額（推計）の数値

（単位：億円）

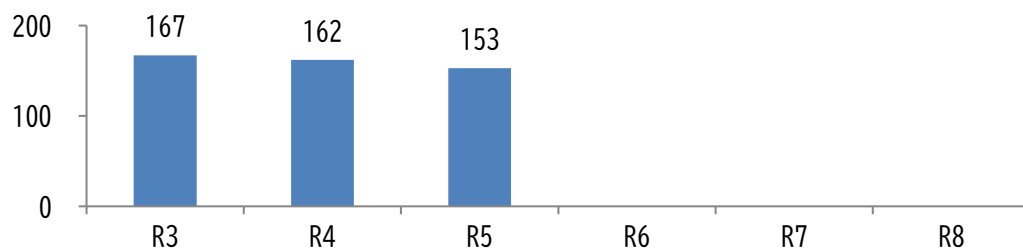


②家畜飼養頭羽数（乳牛）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度2月1日現在の乳牛の飼養頭数

（単位：頭）

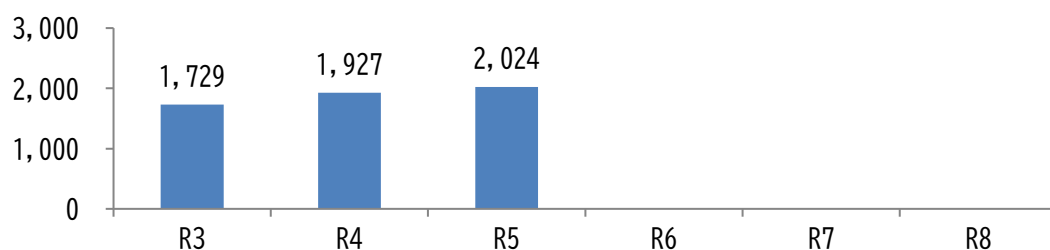


③家畜飼養頭羽数（肉牛）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度2月1日現在の肉牛の飼養頭数

（単位：頭）

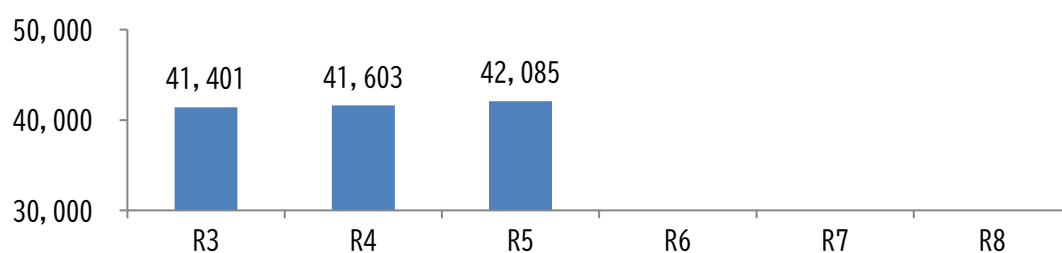


④家畜飼養頭羽数（豚）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度2月1日現在の豚の飼養頭数

（単位：頭）

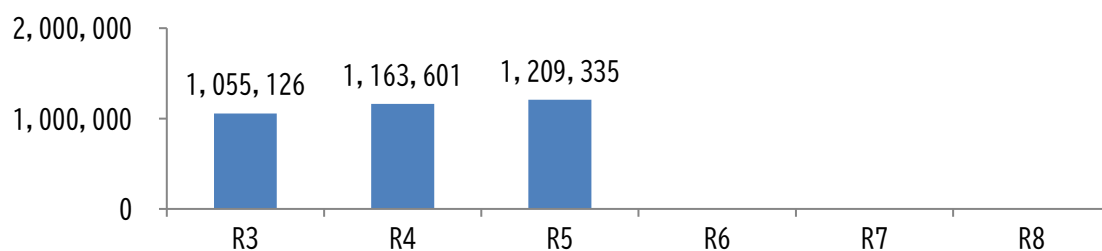


⑤家畜飼養頭羽数（鶏卵）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度２月１日現在の採卵鶏の飼養羽数

（単位：羽）

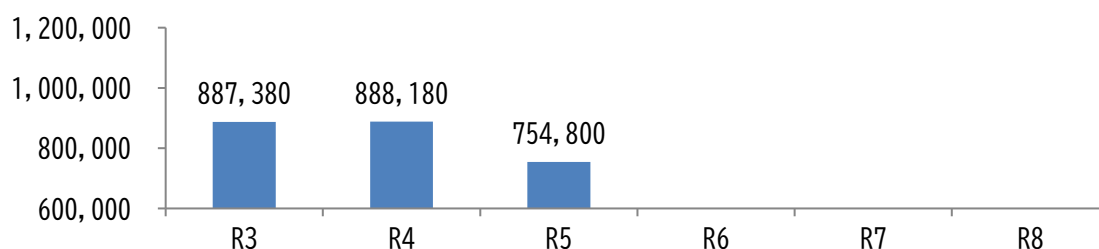


⑥家畜飼養頭羽数（肉鶏）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度２月１日現在の肉鶏の飼養羽数

（単位：羽）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

（自己評価の理由）

- 令和５年度は補助事業の実施やコロナ禍で中止していたイベントを再開したところであるが、進行管理指標が横ばい傾向にあるほか、前年度と比べて市民アンケートの満足度が下降したことから、事業の更なる充実に取り組むことで市民満足度の向上及び畜産業の振興を図っていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策3. 水産業の振興

目指す姿	・漁業経営の安定・強化が図られ、国内外に安全安心で新鮮な水産物が安定的に供給されている。
施策の内容	生産基盤の整備や融資制度の充実を図るとともに、水産物のブランド化の取組を推進します。また、つくり育てる漁業の実現を目指した取組など水産業の持続的発展に向けた取組を推進するとともに、漁業関連施設における衛生管理の促進を図ります。

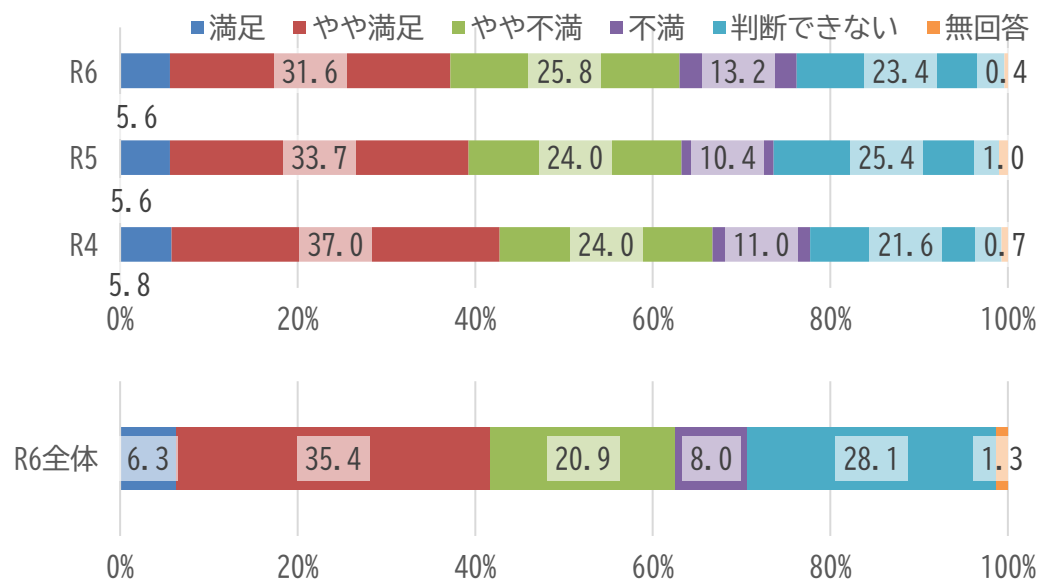
(1) 施策を推進するための事務事業

(7事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
水産基盤整備事業（第1種漁港）	水産事務所	P 37
水産物流通加工振興事業	水産事務所	P 37
漁業系統金融機関などに対する貸付事業	水産事務所	P 37
漁業系統保証機関に対する出資事業	水産事務所	P 37
水産業振興事業	水産事務所	P 37
八戸漁港漁船誘致推進事業	水産事務所	P 37
衛生管理推進事業	水産事務所	P 38

(2) 市民アンケートの結果

【設問】八戸港における水揚げ数量の安定確保や水産物のブランド化の促進及び国内外への安定的な供給など、水産業の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 41位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

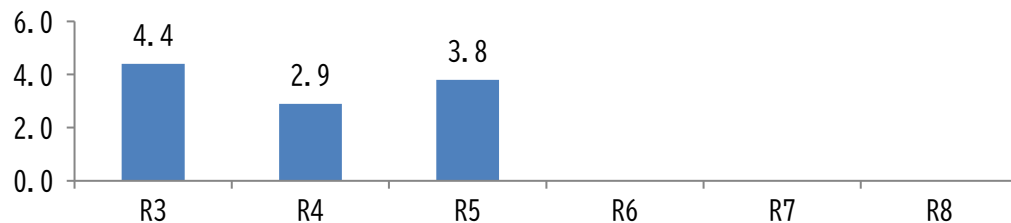
(3) 進行管理指標の動向

①水揚げ高（数量）

資料：八戸市（各年集計）

指標の定義：八戸市魚市場での魚介藻類の取扱数量

（単位：万トン）

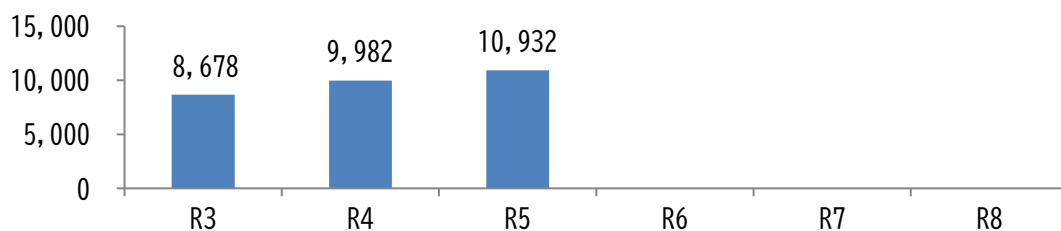


②水揚げ高（金額）

資料：八戸市（各年集計）

指標の定義：八戸市魚市場での魚介藻類の取扱金額

（単位：百万円）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

（自己評価の理由）

- 最盛期に比べて水揚げが激減している当市水産業の再興に向け、「八戸水産アカデミー」や「つくり育てる漁業専門部会」、「八戸漁港漁船誘致推進委員会」を設置し、水産業界が抱える各種課題の解決や水揚げ増大に向けた取組を進めているところである。
- 令和5年の水揚げ高は、前年に比べて数量・金額ともに微増となったものの、依然として厳しい状況にあることから、引き続き関係者が一体となって水産業の振興に取り組む必要がある。
- 令和6年度は、これらの取組に加えて、新たに養殖業に係る補助制度を創設するほか、若手水産関係者の横のつながりを構築する事業に着手するなど、当市水産業の持続的発展に向けて更なる事業の拡大に取り組んでいく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策4. ものづくり産業の振興

目指す姿	・多くのものづくり企業において生産性が向上し、先端技術の活用などにより事業の高度化が進められ、受発注の拡大が図られている。
施策の内容	ものづくり企業の教育・研究機関や産業支援機関との連携による取組を支援するとともに、ものづくり企業への支援体制の強化や企業間のネットワーク形成の促進を図ります。

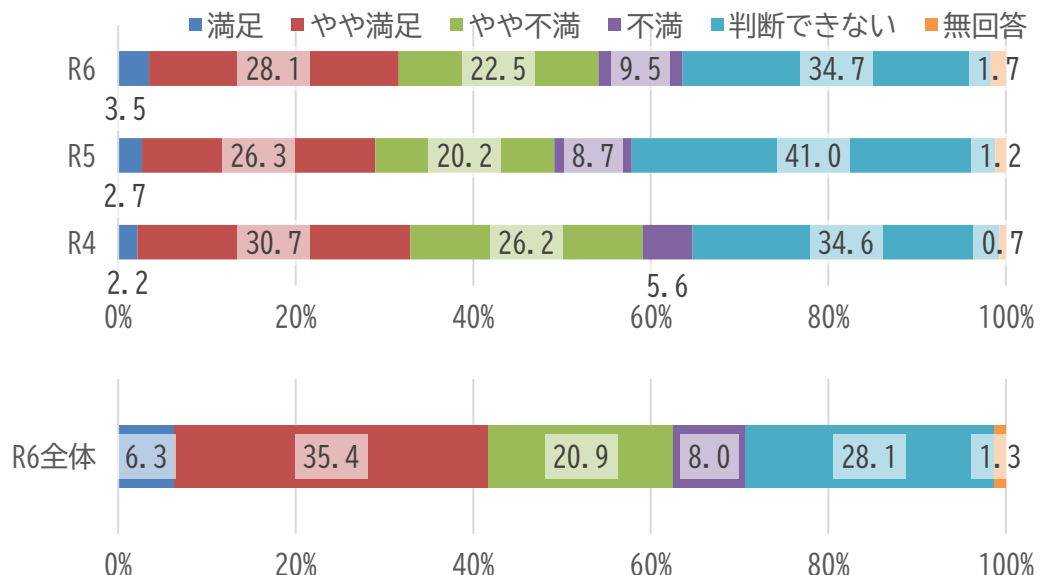
(1) 施策を推進するための事務事業

(6事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
産学官共同研究開発支援事業	商工課	P 39
知的財産権対策支援事業	商工課	P 39
革新的ものづくり企業連携促進事業	商工課	P 39
生産性カイゼン活動フォローアップ事業	商工課	P 39
地域企業支援体制強化事業	商工課	P 39
事業者向け情報提供事業	商工課	P 40

(2) 市民アンケートの結果

【設問】企業の生産性向上や先端技術の活用による事業の高度化、受発注の拡大など、ものづくり産業の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 39位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

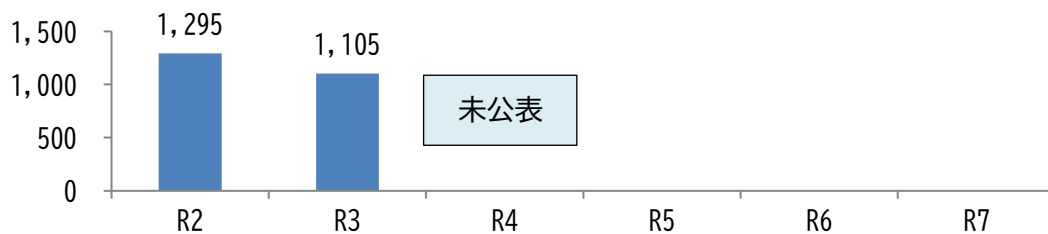
(3) 進行管理指標の動向

①従業員一人当たりの付加価値額

資料：国調査

指標の定義：国の統計調査での従業者4人以上の事業所における従業員一人当たりの付加価値額（（粗）付加価値額／従業者数）

（単位：万円）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

（自己評価の理由）

- ものづくり産業の振興のため、産学官の共同研究1件や国内特許の出願2件の補助等を実施した。
- 今年度、本施策に位置づけられる「地域企業課題解決支援事業（旧地域企業支援体制強化事業）」において、新たにデジタル技術に精通したコーディネーターを委嘱することとしている。
- 市民アンケートの満足度が横ばい傾向であるが、進行管理指標の数値が下降傾向にあることから、企業のデジタル化支援を通じて付加価値額の向上に努めていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

■ 施策の方向性Ⅱ 販路・消費を拡大する

施策1. 商業の振興

目指す姿	・キャッシュレス決済などの多様な消費者ニーズに対応した魅力ある店舗が増え、多くの人で賑わう商業空間が形成されている。
施策の内容	商業環境の構築に向けた経済的支援に取り組むとともに、市内外から多くの人を訪れる魅力あふれる商店街づくりの促進を図ります。

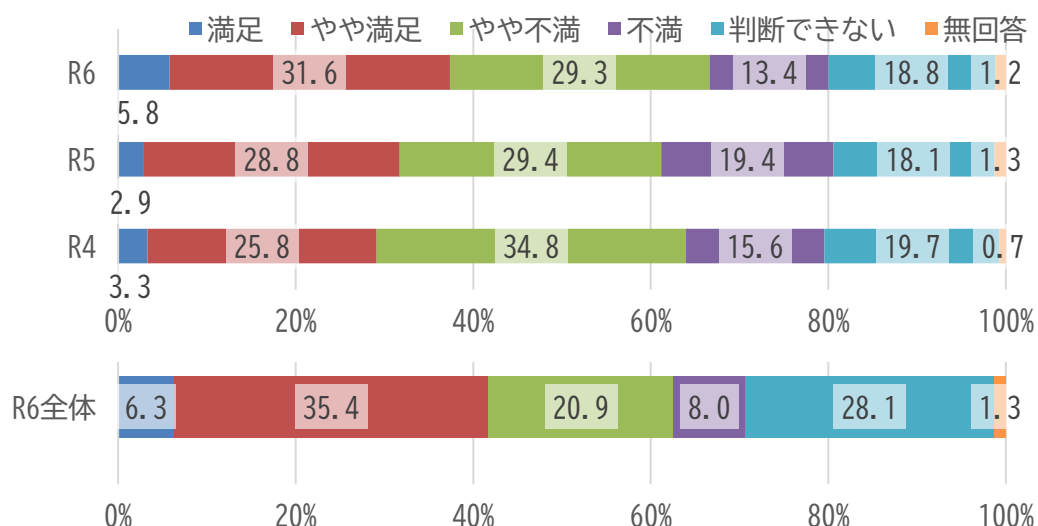
(1) 施策を推進するための事務事業

(7事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
B u yはちのへ運動普及啓発推進事業	商工課	P 41
商店街向け補助事業	商工課	P 41
空き店舗活用チャレンジ融資保証料及び利子補給事業	商工課	P 41
八戸市次世代エール商品券発行事業	商工課	P 41
八戸市商業団体等販売促進支援事業	商工課	P 41
商店街向け補助事業	商工課	P 42
マチニワイベント支援事業	八戸ポータルミュージアム	P 42

(2) 市民アンケートの結果

【設問】キャッシュレス決済などの多様な消費者ニーズに対応した魅力ある店舗が増え、多くの人で賑わう商業空間が形成されるよう、商業の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 46位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

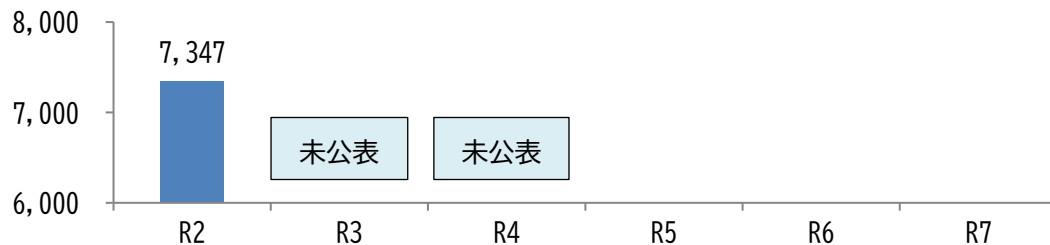
(3) 進行管理指標の動向

①卸売・小売業年間商品販売額

資料：国調査

指標の定義：国の統計調査での卸売・小売業年間商品販売額

(単位：億円)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 地域経済の活性化及び事業者のデジタル化の促進に加えて、子育て世代・若者の支援を目的として、八戸商工会議所、(株)まちづくり八戸等と連携して実施した八戸市次世代エール商品券発行事業では、約15,500人に約3億9千万円（うちプレミアム分約1億3千万円）分の商品券が購入され、その大半が利用された。利用者から「使えるお店が多くて良かった」「スマホ1つで日々の買い物が出来た」等の好意的な声が上がったことを踏まえると、同事業により経済的な側面から子育て世代・若者の支援が図られたと考えられる。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策２．観光・スポーツビジネスの振興

目 指 す 姿	・観光や学会等への参加や、スポーツ大会や地域プロスポーツチームの試合観戦のために多くの人々が当市を訪れ、宿泊や飲食、お土産の購入などにより、地域経済が活性化している。
施策の内容	八戸圏域版DMO「VISIT はちのへ」と連携した観光誘客を推進するとともに、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿、M I C E の積極的な誘致、地域プロスポーツチームの観戦者数の増加に向けた支援の充実を図ります。

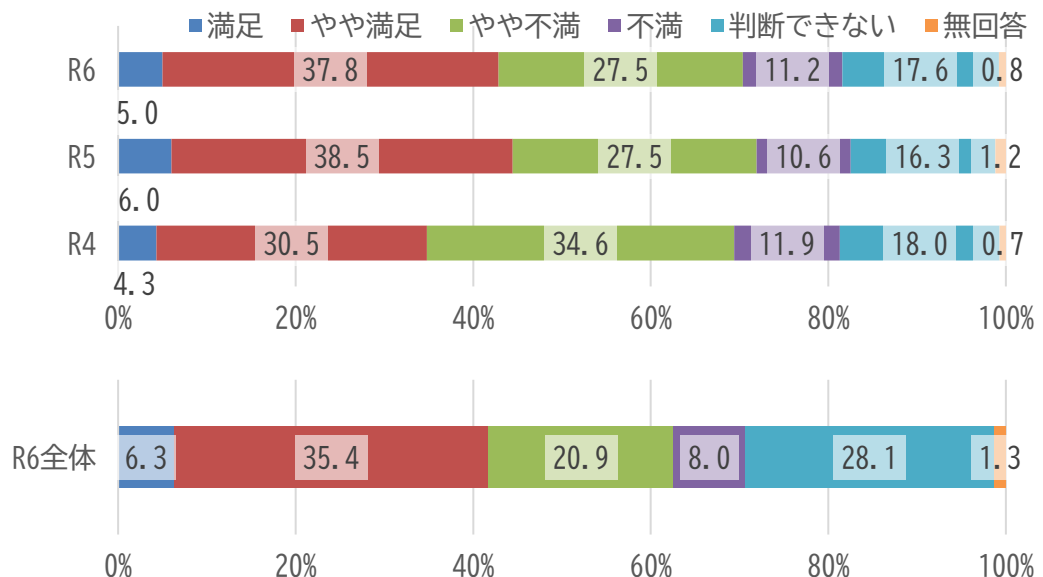
（１）施策を推進するための事務事業

（５事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
VISIT はちのへ活動支援事業	観光課	P 43
スポーツコミッション設立事業	スポーツ振興課	P 43
スピードスケート国際大会誘致事業	長根屋内スケート場	P 43
地域スポーツチーム応援事業	スポーツ振興課	P 43
八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり 推進協議会設置事業	スポーツ振興課	P 43

（２）市民アンケートの結果

【設問】観光や地域プロスポーツチームの試合観戦等により多くの人々が当市を訪れ、地域経済が活性化するよう、観光・スポーツビジネスの振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 32位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

(3) 進行管理指標の動向

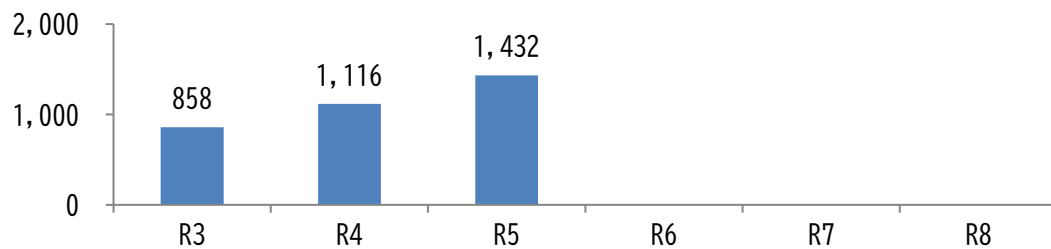
①地域プロスポーツチームのホームゲーム

来場者数（1 試合平均）

資料：八戸市（各シーズン集計）

指標の定義：当市及び当市を含む地域を拠点に活動するプロスポーツチームの八戸市開催のホーム戦における観客動員数の平均値

（単位：人）

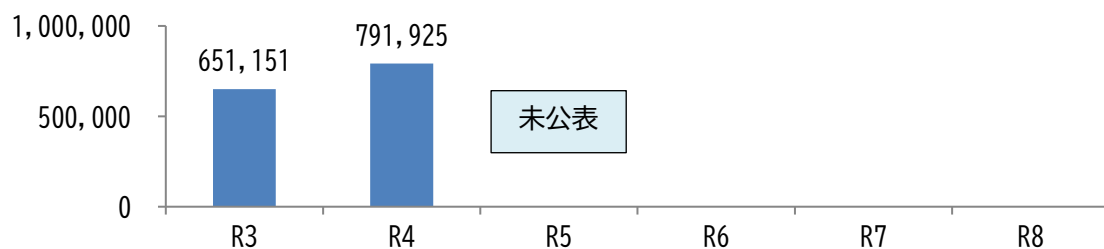


②宿泊者数

資料：（一財）VISIT はちのへ（各年度集計）

指標の定義：市内ホテル・旅館等における延べ宿泊者数

（単位：人）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- 地域プロスポーツチームのホームゲーム来場者数については、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、来場者数が回復傾向になったほか、令和5年度から開始した、プロスポーツチームの選手による競技指導とホームゲーム観戦を組み合わせた「地域プロスポーツキッズチャレンジ促進事業」が来場者数の増加に貢献した。
- 宿泊に関してはインバウンド、観光客、ビジネス客が増えており、宿泊者数が順調に回復している。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策3. 貿易の振興

目指す姿	・八戸港の利用が増え、輸出入貿易額やコンテナ貨物取扱量（実入り）が増加している。
施策の内容	官民一体でのポートセールス活動を推進するとともに、貿易に関する協定等を締結している都市との相互交流や輸出に取り組む企業への支援に取り組みます。

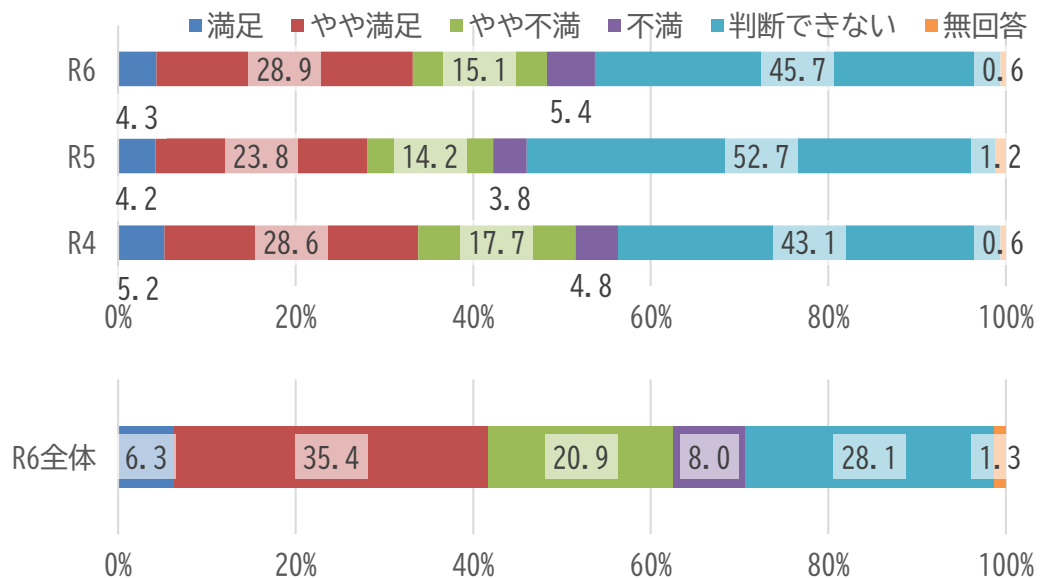
（１）施策を推進するための事務事業

（3 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
ポートセールス事業	商工課	P 44
海外経済交流事業	商工課	P 44
海外販路拡大事業	商工課	P 44

（２）市民アンケートの結果

【設問】八戸港の利用が増え、輸出入貿易額やコンテナ貨物取扱量が増加するよう、貿易の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 20位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

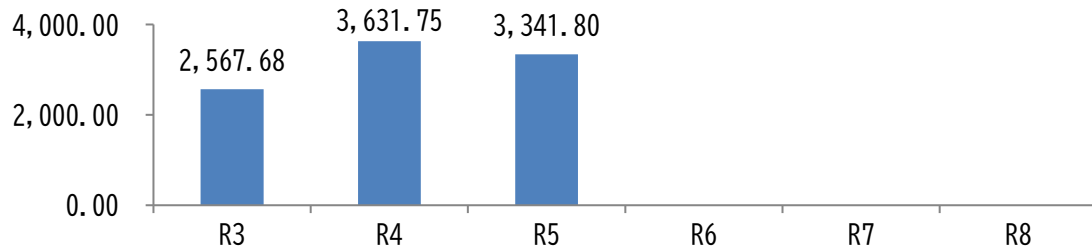
(3) 進行管理指標の動向

①八戸港の輸出入貿易額

資料：函館税関八戸税関支署（各年集計）

指標の定義：函館税関八戸税関支署において通関し、輸出入された商品の売買額の合計

(単位：億円)

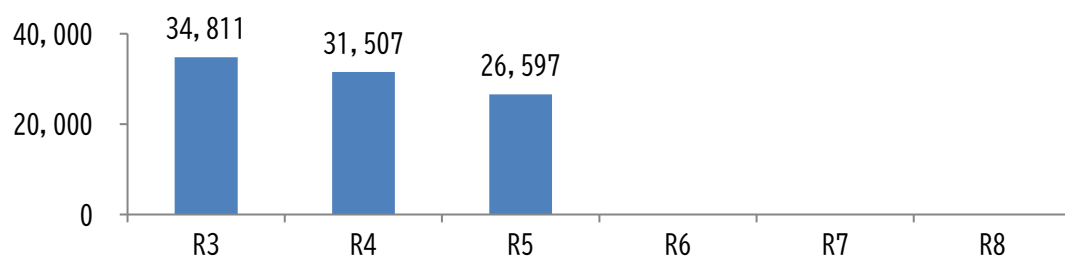


②八戸港のコンテナ貨物取扱量（実入り）

資料：八戸港管理所（各年集計）

指標の定義：八戸港から輸移出及び輸移入するコンテナのうち、貨物が入っているもの

(単位：TEU)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 中国による農水産物の輸入規制や八戸港におけるベースカーゴ（主要貨物）の減少等により、輸出入貿易額及びコンテナ取扱量の減少につながったため、ポートセールス等の充実により、改善に努めていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策4. 販路開拓の促進

目指す姿	・多くの市内事業者が、新たな販売先を開拓し、収益性の向上と安定した経営につながっている。
施策の内容	市内事業者が抱える販路開拓の課題解決に向けた取組への支援や、国内外における販路開拓の機会の確保を図ります。

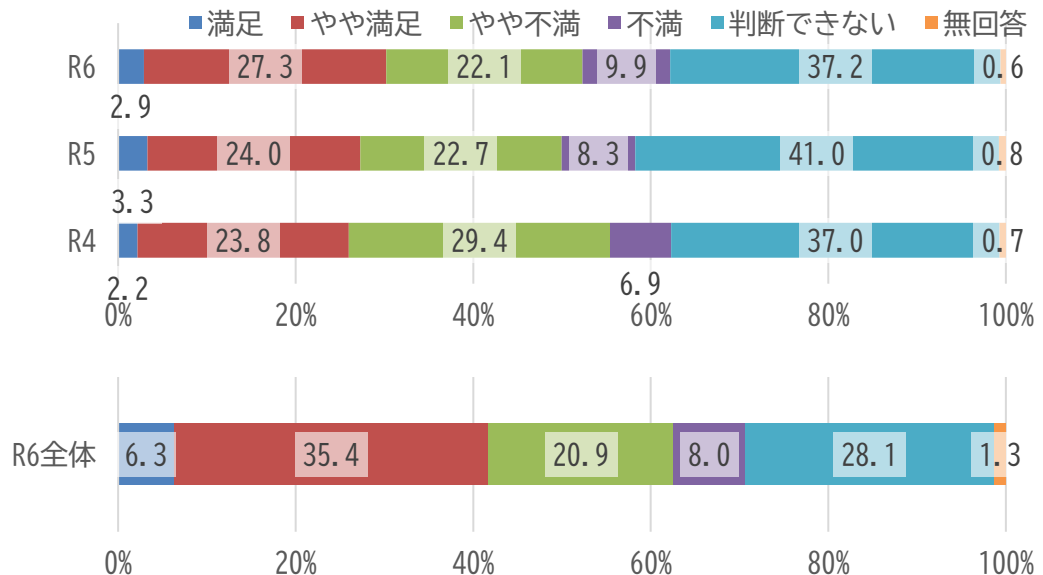
(1) 施策を推進するための事務事業

(3事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
地域企業支援体制強化事業	商工課	P 45
海外販路拡大事業	商工課	P 45
VISIT はちのへ活動支援事業	観光課	P 45

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市内の事業者が、新たな販売先を開拓し、収益性の向上と経営の安定につながられるよう、地場産物フェアや商談会の開催など、販路開拓の促進が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 42位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

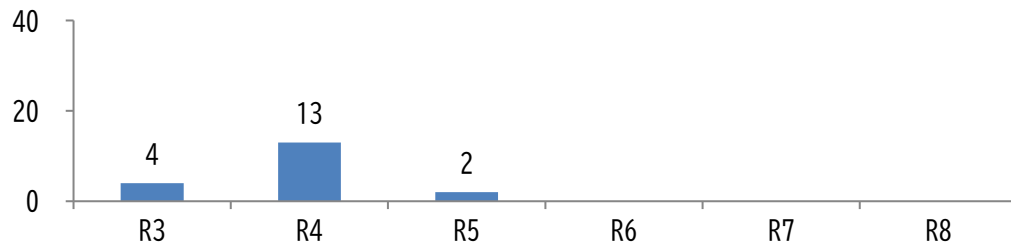
(3) 進行管理指標の動向

①商談成立件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：海外販路拡大事業において、商談成立した件数

(単位：件)

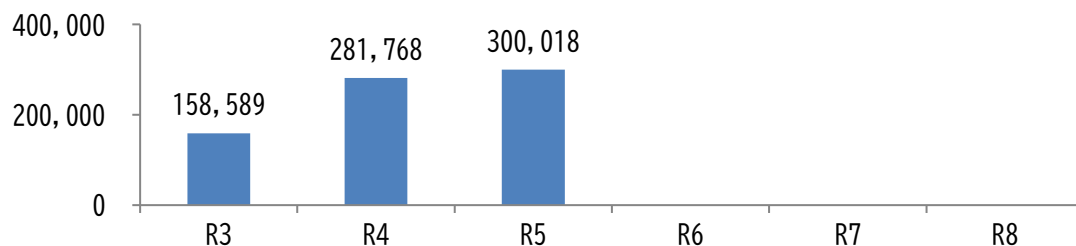


②八戸都市圏交流プラザの来店者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸都市圏交流プラザの来店者数

(単位：人)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 八戸都市圏交流プラザの来店者数については、圏域事業者による各種イベントが開催されたほか、交流事業やプロモーションイベントの実施により来店者数が増加した。
- 進行管理指標の数値である商談成立件数について、令和5年度中の新規商材の商談成立は2件であったが、商談継続中の案件が多数存在しており、今後の成立の可能性が見込まれることから、引き続き海外販路拡大事業を通じて事業者支援に努めていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

■ 施策の方向性Ⅲ 働く場と働きやすい環境をつくる

施策１．企業誘致の推進

目 指 す 姿	・ 企業の新規立地が進むとともに、立地企業の事業拡大や地元企業への取引拡大が積極的に図られ、多くの雇用が創出されている。
施策の内容	成長産業などの集積に向けた立地環境のPRに取り組むとともに、新産業団地（八戸北インター第2工業団地）等の整備や企業のニーズに応じた立地支援を推進します。

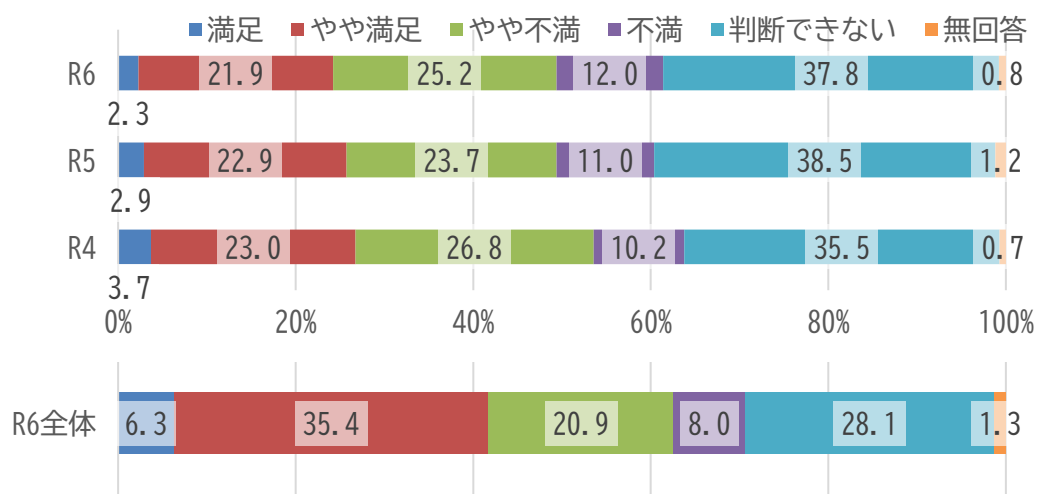
（１）施策を推進するための事務事業

（９事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
企業誘致促進事業	産業労政課	P 46
新産業団地整備・開発推進事業	産業労政課	P 46
八戸市貸工場運営事業	産業労政課	P 46
I T 産業集積促進事業	産業労政課	P 46
エネルギーシステム転換支援事業	産業労政課	P 46
企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業	産業労政課	P 46
イノベティブ産業集積促進事業	産業労政課	P 46
おためしサテライトオフィス誘致事業	産業労政課	P 47
本社機能移転支援事業	産業労政課	P 47

（２）市民アンケートの結果

【設問】地元企業との取引拡大や多くの雇用が創出されるよう、企業誘致が推進されている。



参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 50位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

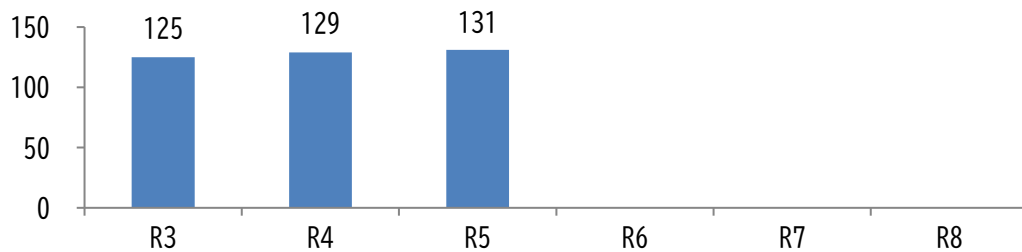
(3) 進行管理指標の動向

①誘致認定件数（累計）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：毎年度末の誘致認定件数（累計）

（単位：件）

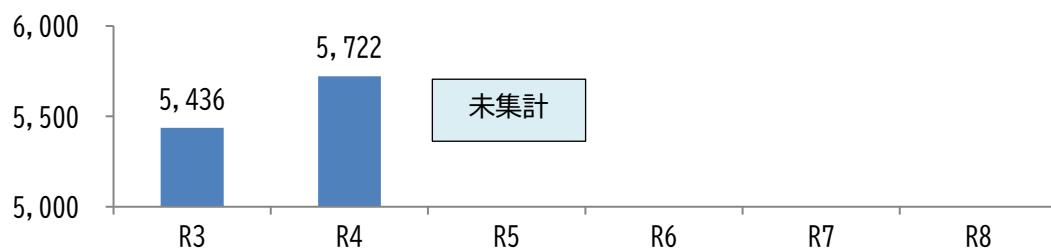


②誘致企業の従業員数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：誘致企業概況調査での誘致企業の従業員数

（単位：人）

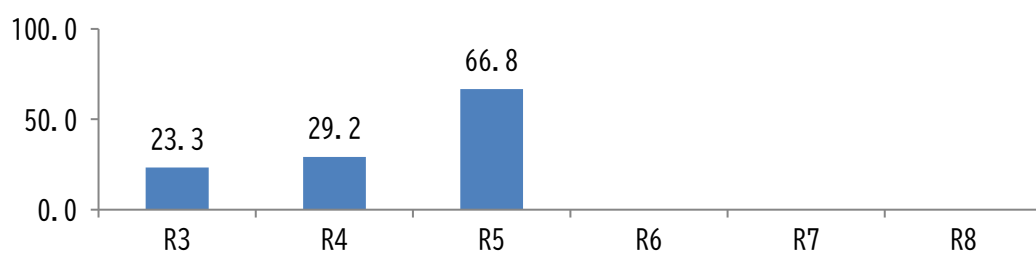


③新産業団地整備事業の進捗率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：総事業費（見込）に対する決算額合計の比率

（単位：%）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- ・ 東京・名古屋において4年ぶりにコロナ禍前と同様の規模で八戸セミナーを開催したとともに企業訪問などを通じてPRに取り組み、2件の新規誘致ができたほか、新産業団地整備事業の進捗率が順調に推移している。
- ・ 令和6年度は八戸北インター第2工業団地の分譲受付開始を予定しており、更なる情報発信と企業ニーズに応じた立地支援を展開しながら、企業誘致に努めるとともに、引き続き新産業団地の整備を着実に進めていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策２．中小企業・小規模事業者の振興

目 指 す 姿	・ 中小企業・小規模事業者が、市場の環境の変化に意欲的に対応し、新たな分野への事業展開が行われている。 ・ 円滑な事業承継が図られ、中小企業・小規模事業者において安定した経営が行われている。
施策の内容	融資・保証・助成制度の充実を図るとともに、はちのへ創業・事業承継サポートセンターでの事業承継支援や、コーディネーターによる相談対応、各種支援制度の情報提供体制の充実を図ります。

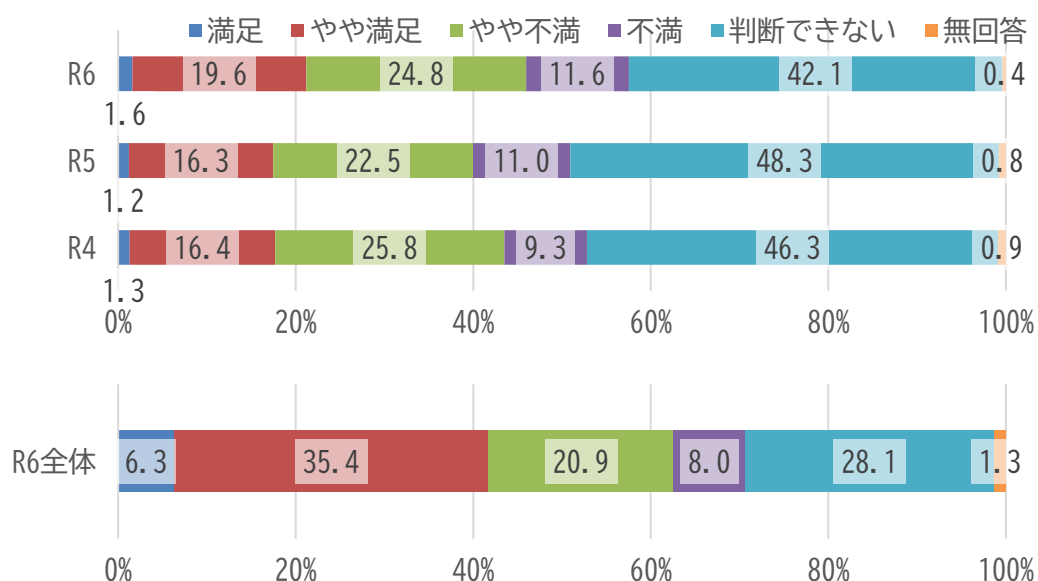
（１）施策を推進するための事務事業

（13 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業	商工課	P 48
中小企業振興補助金交付事業	商工課	P 48
事業者向け情報提供事業	商工課	P 48
八戸市創業融資利子補給事業	商工課	P 48
地域総合整備資金貸付事業	商工課	P 48
中小企業特別保証制度保証料補助事業	商工課	P 48
中小企業振興資金事業	商工課	P 49
マル経融資利子補給事業	商工課	P 49
経営安定化サポート資金保証料及び利子補給事業	商工課	P 49
事業所等における事業継続計画（BCP）の策定支援事業	商工課	P 49
新商品特定随意契約制度事業者認定事業	商工課	P 49
地域企業支援体制強化事業	商工課	P 49
中小企業及び小規模企業振興基本条例推進事業	商工課	P 50

(2) 市民アンケートの結果

【設問】中小企業・小規模事業者が安定的に事業活動を継続できるよう、経営基盤の安定や事業承継に対する支援の充実など、中小企業・小規模事業者の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 52位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

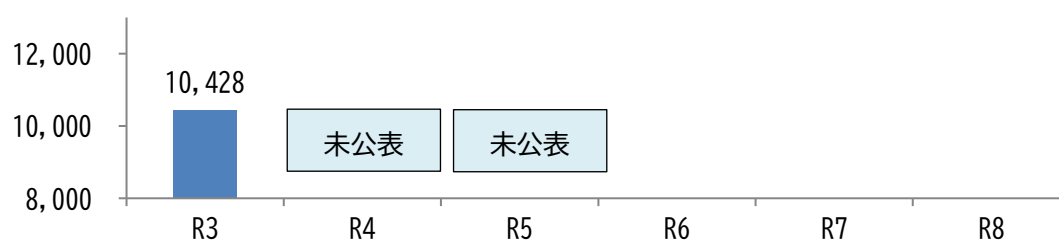
(3) 進行管理指標の動向

①市内事業所数

資料：国調査

指標の定義：国の統計調査での市内事業所数

(単位：事業所)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 中小企業・小規模事業者向けの低利融資・信用保証料補助・利子補給の各種事業や、市が委嘱するコーディネーターの派遣を通じた課題解決支援(延べ52件)を実施した。
- 直近の進行管理指標の数値は公表されていないものの、市民アンケートでは満足度が低い傾向にあることから、引き続き、「中小企業・小規模企業振興会議」での有識者からの意見聴取を通じて市の施策の見直し・充実を図っていくほか、施策説明会の開催や市広報誌への記事掲載などにより市の施策の認知度向上に努めていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策3. 創業環境の充実

目指す姿	・新たな事業活動に意欲的に取り組む创业者が増えている。
施策の内容	金融機関や産業支援機関との連携による切れ目のない支援体制を構築するとともに、はちのへ創業・事業承継サポートセンターにおける相談体制や融資制度の充実を図ります。

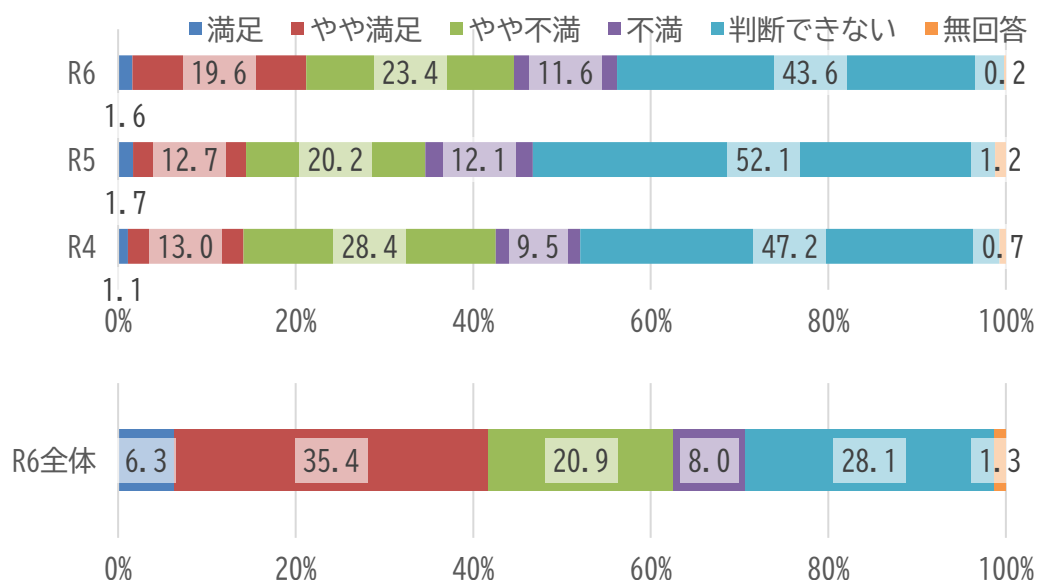
(1) 施策を推進するための事務事業

(4 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業	商工課	P 51
八戸市創業融資利子補給事業	商工課	P 51
空き店舗活用チャレンジ融資保証料及び利子補給事業	商工課	P 51
新規会社設立補助事業	商工課	P 51

(2) 市民アンケートの結果

【設問】地域経済の新たな担い手として、事業活動に意欲的に取り組む创业者が増えるよう、創業環境の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 51 位／全 55 問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

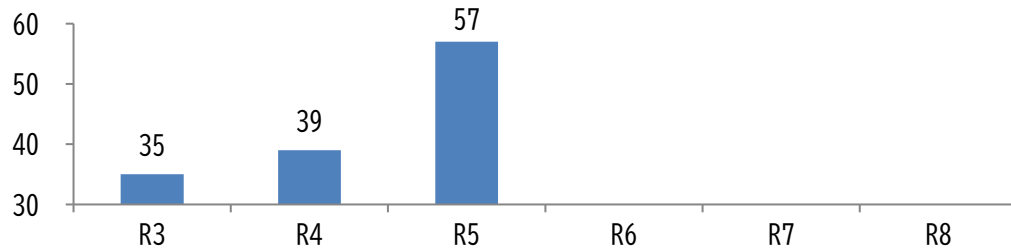
(3) 進行管理指標の動向

①はちのへ創業・事業承継サポートセンター を活用して創業した件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：はちのへ創業・事業承継サポートセンターを活用して創業した件数

(単位：件)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 令和5年度から、はちのへ創業・事業承継サポートセンター（8サポ）内に「起業支援プラットフォーム」を新たに構築し、コミュニティ活動の実施を通じた創業・起業希望者等や起業家同士の交流機会の創出や、8サポの相談機能と連携した面的な創業・起業希望者支援を図るための支援体制を強化した。
- 令和4年度に創設した新規会社設立補助金の補助対象経費を拡充し、支援体制の更なる強化を図ったほか、創業件数が増加傾向にある。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策4. 雇用・就業の促進

目 指 す 姿	・企業において必要な人材確保が図られている。 ・首都圏等に転出することなく、自分の希望する職業や能力を活かすことができる職業に就けている。
施策の内容	雇用・就業機会の拡大や職業能力の開発・向上に取り組むとともに、地元定着・人材還流の促進を図ります。

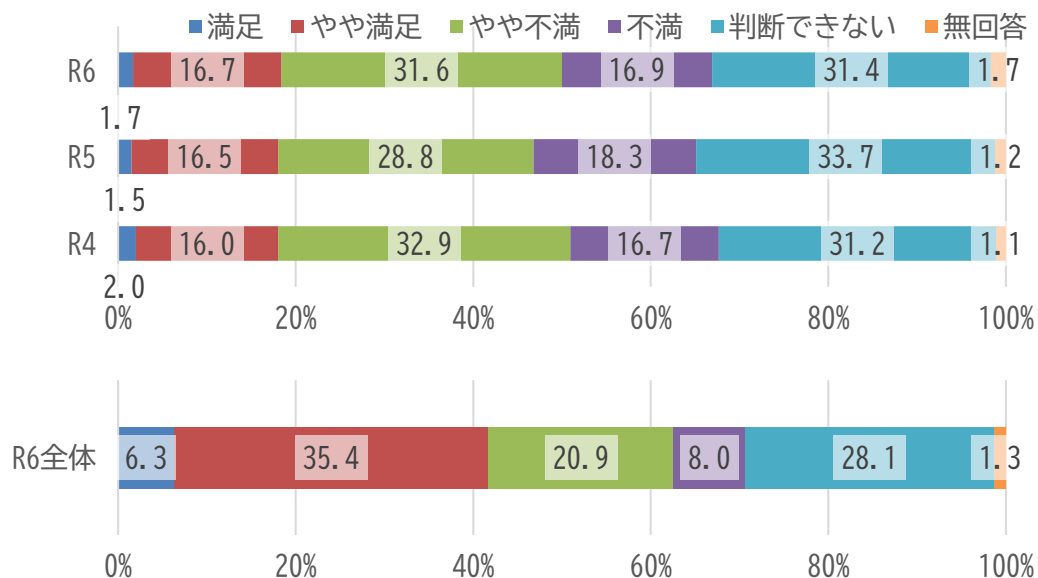
(1) 施策を推進するための事務事業

(15 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
無料職業紹介事業	産業労政課	P 52
雇用奨励金交付事業	産業労政課	P 52
シルバー人材センター育成・援助事業	産業労政課	P 52
求人・求職情報無料ウェブサイト運営事業	産業労政課	P 52
地元企業ファンづくりプロジェクト事業	産業労政課	P 52
若年者・離職者対策事業	産業労政課	P 52
ほんのり温ったか八戸移住計画支援事業	産業労政課	P 52
人材還流促進事業	産業労政課	P 53
地域事業所人材獲得等支援事業	産業労政課	P 53
移住支援金支給事業	産業労政課	P 53
高校生による地元企業魅力発見体験事業	産業労政課	P 53
卓越技能者表彰制度実施事業	産業労政課	P 53
フロンティア八戸職業訓練助成事業	産業労政課	P 53
技能者養成事業	産業労政課	P 54
キャリア教育推進事業	産業労政課	P 54

(2) 市民アンケートの結果

【設問】地元で自分の希望する職業に就けるとともに、企業が必要な人材を確保できるよう、地元企業の魅力発信や UIJ ターン希望者への就職支援など、雇用・就業の促進が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 53位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

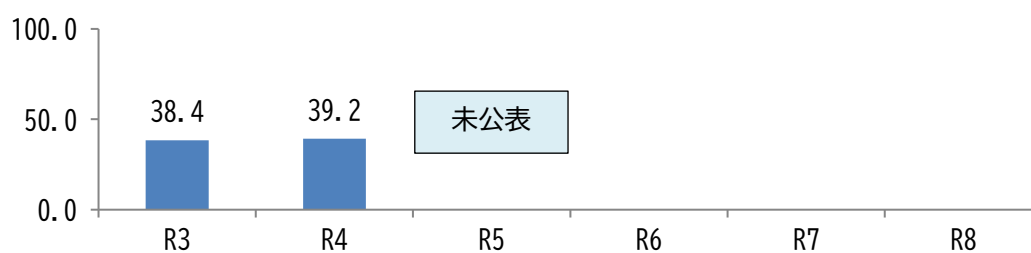
(3) 進行管理指標の動向

①八戸公共職業安定所管内の就職率

資料：八戸公共職業安定所（各年度集計）

指標の定義：八戸公共職業安定所管内における新規求職者に対する就職件数の比率

(単位：%)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 「令和5年度キャリア教育推進事業」では、社会人を対象としたキャリアアップを啓発するセミナーを実施したところ、募集定員を上回る申し込みがあり、参加者のアンケートでは「自分の理想の生き方・キャリアを見直す良い時間であった。自己理解に大きく貢献すると思った。」等の好評的な意見をいただいた。令和6年度は対面式のセミナーの他にアーカイブ視聴を導入し、ハイブリット方式で実施予定である。
- 市民アンケートでは満足度が低い傾向にあり、進行管理指標の数値は横ばい傾向であることから、各種事業の更なる充実に取り組み、市民満足度の向上に努めていくとともに認知度の向上を図っていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策5. 労働環境の充実

目指す姿	・各事業所において、労働環境の改善及び福利厚生の実現が図られている。 ・勤労者が多様で柔軟な働き方を選択することができ、安心して快適に、かつ意欲的に働くことができる。
施策の内容	勤労者及び事業者に対する働きやすい労働環境の普及啓発を図るとともに、福利厚生の実現に向けた取組を支援します。

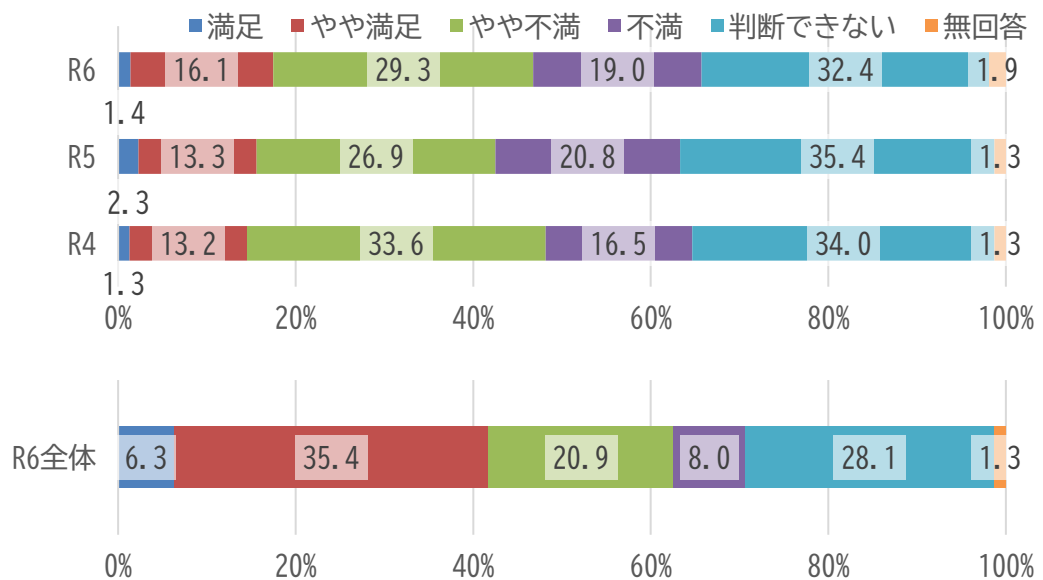
(1) 施策を推進するための事務事業

(3事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
労働環境普及・啓発事業	産業労政課	P 55
中小企業勤労者総合福祉推進事業	産業労政課	P 55
勤労者向け融資制度実施事業	産業労政課	P 55

(2) 市民アンケートの結果

【設問】勤労者が多様な働き方を選択でき、安心かつ意欲的に働けるよう、ワークライフバランスの推進など、労働環境の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 54位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

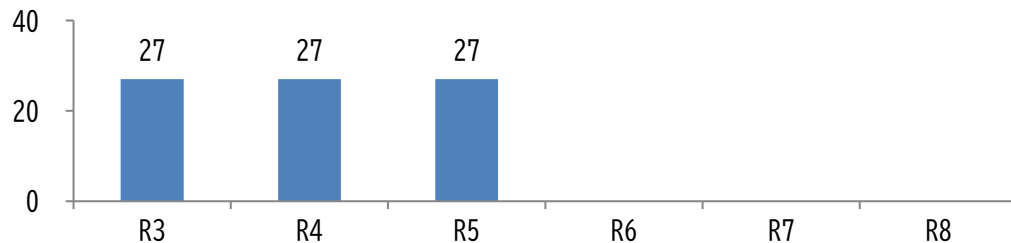
(3) 進行管理指標の動向

①「あおり働き方改革推進企業」認証取得企業数

資料：青森県（各年度集計）

指標の定義：「あおり働き方改革推進企業」の認証を取得した市内企業数の累計

(単位：社)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 認証の有効期間が 2 年間（要更新）であるため、認証取得企業数の増減により、実績が横ばいとなっている。
- 進行管理指標の数値が横ばい傾向であり、市民アンケートでは満足度も低い傾向であることから、勤労者及び事業者に対する働きやすい労働環境の更なる普及啓発を図るため、労働環境の改善に関するポスターの掲示やチラシの配布、講習会・セミナー等の開催を周知していく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-